

化学兵器禁止法
第一種指定物質製造等事業所
実態調査の手引
(O P C W国際検査に備える実態調査)

2022年版

令和4年9月改定

経済産業省化学兵器・麻薬原料等規制対策室

I. はじめに

1. 1 化学兵器禁止条約

化学兵器の廃絶を目的とする「化学兵器の開発、生産、貯蔵及び使用の禁止並びに廃棄に関する条約」（通称「化学兵器禁止条約」）は、1997年4月29日に発効しました。

化学兵器禁止条約では、化学兵器への転用の可能性が高い物質を「表1剤（サリン、VXなど）」に指定し、その製造、保有数量等について厳格な管理を行うことを義務付けています。また、化学兵器の原料となりうる化学物質を、その物質の汎用性や兵器への転用のリスクに応じて「表2剤（PFIBやチオジグリコールなど）」及び「表3剤（ホスゲンやトリエタノールアミンなど）」に指定し、一定数量・濃度以上の製造等を行う事業所がその予定数量と実績数量を国際機関（化学兵器禁止機関、OPCW（Organization for the Prohibition of Chemical Weapons））に申告し、国際機関の検査を受けるべきこと（ただし、申告した事業所のうち一定数量・濃度以上の取扱を行う事業所が対象）を規定しています。

さらに、「識別可能な有機化学物質」を一定数量以上製造する事業所についても、その製造実績数量を国際機関へ申告し、国際機関の検査を受けるべきことを規定しています。

1. 2 化学兵器禁止法

我が国においては、化学兵器禁止条約に定められた締約国の義務を適確に履行するため、平成7年3月30日に「化学兵器の禁止及び特定物質の規制等に関する法律」（略称「化学兵器禁止法」）が成立し、同年4月5日に公布されました。

化学兵器禁止法では、化学兵器の製造等の禁止、特定物質（条約上の表1剤）についての規制とともに、指定物質（条約上の表2剤、表3剤）、有機化学物質（条約上のDOC（Discrete Organic Chemicals：識別可能な有機化学物質）、特定有機化学物質（有機化学物質のうち、りん（P）、硫黄（S）又はふっ素（F）を含むもの）に関する届出について規定されています。さらに、届出を行った事業所に対する国際機関による検査の受入れ義務についても規定されています。

なお、規制の対象となる「特定物質」、「指定物質」及び「有機化学物質」は、化学兵器禁止法施行令によって定められています。

(1) 届出・申告

届出は、指定物質については翌年の予定製造等数量及び前年の実績製造等数量、指定物質の輸出入及び有機化学物質／特定有機化学物質については前年の実績製造数量を届け出ることとなっています。これらの届出は各経済産業局を經由して受理され（指定物質の輸出入は直接本省に届出）、本省において取りまとめられた後、外務省を經由して国際機関に申告されています。

(2) 国際検査

指定物質、有機化学物質、特定有機化学物質の届出（国際機関への申告）を行った事業所は、化学兵器禁止法第30条の規定に基づき、経済産業省職員の立会いの下で国際機関の検査官による検査を受け入れる義務が課せられています。なお、指定物質の輸出入については検査対象外です。

1. 3 本資料の目的

化学兵器禁止条約においては、化学兵器にも民生用にも供される一定の化学物質を取り扱う産業等の施設に対して、化学物質が兵器に転用されていないことを確認するための検証制度があり、本法に定める第一種指定化学物質、第二種指定化学物質、有機化学物質・特定有機化学物質については、化学兵器禁止条約における検証制度の対象となっており、「化学兵器禁止機関」（以下「OPCW」という。）による国際検査が行われる可能性があります。

国際検査が円滑に進むよう、経済産業省においては、あらかじめ、国際検査の受入準備が十分であることを確認するため、実態調査を実施しています。本資料は、第一種指定化学物質を対象として、経済産業省により行われる実態調査の準備を行う際の手引です。

我が国は、過去300回を超える国際検査を受けており、いずれも特段大きな問題を指摘されることなく終了していますが、万が一、在庫・生産管理が不適切であったり、検査官の質問に的確に答えられなかったりなど、検査結果が不十分なものになった場合、我が国が国際的な批判を受けることにつながりますので、本実態調査及び国際検査への御協力をお願いします。

なお、実際に国際検査の実施通告があった場合には、再度この手引をご活用いただきながら早急に準備を進めていただく必要がございますので、手引はいつでもすぐにご確認いただけるようにしていただくとともに、担当者が変更される場合は担当者間で十分引継ぎいただくなど、いつ通告があっても対応できるようにご準備をお願いします。

1.1. 国際検査の概要

経済産業省による実態調査は、将来の国際検査がスムーズに実施されるために行います。そのため、まずは国際検査の概要についてご説明します。

2. 1 国際検査の目的

「化学兵器禁止法」の「第一種指定物質」（＝「化学兵器禁止条約」の「Schedule 2 Chemicals」（表2剤。PFIB等の毒性物質や前駆物質））製造等・使用（生産、加工、消費）事業所に対する国際検査は、条約に基づいて、

- ① 申告情報（既に届出いただいた書類のうち英文Formの記載内容）が正しい

こと

- ② 化学兵器禁止法の「特定物質」（＝条約の「Schedule 1 Chemicals」（表1剤。サリン等の毒性物質やその前駆物質）の存在がないこと、特に生産がないこと
- ③ 生産、加工、消費した第一種指定物質が化学兵器の開発・生産等に転用されていないこと

を確認するために行われるもので、事業所の安全確保や環境保全状況を確認するためのもではありません。例えば、排水処理設備の検査は、設備が環境保護に関する法令に適合し排水が事業所外に悪影響を与えていないか、ではなく、化学兵器の原料となり得る物質を秘密裏に生産可能な設備になっていないか（つまり、事業所として特定物質を生産する恐れがないか）、といった観点で行われます。

なお、検査は、企業単位でなく事業所単位で行われます。また、検査に要する実費（国際電話料金、食事代等）は、基本的に検査団又は立会団（後述）が負担します。

2. 2 国際検査の通告

第一種指定物質に関する国際検査は、通常、月曜日朝から金曜日まで、最大96時間（報告書作成・署名を含めると最大120時間）実施され、その実施通告は、前週の水曜日ごろにOPCWから経済産業省に対して行われます。検査の実施が決まってから書類等を準備するのでは間に合わないことが予想されますので、あらかじめ行う実態調査で、来るべき国際調査に向けた事業所の準備状況を確認させていただきます。

なお、自然災害等の特別の事情がない限り、通告された国際検査の拒否や日程変更はできませんのでご了解ください。

2. 3 検査団と立会団

- ① 検査団：（IT：Inspection Team）

OPCW本部のあるオランダのハーグから派遣される検査官の人数は、2名から4名程度です。国籍は様々ですが、検査中は全員英語を使用します。また、通訳が2名同行します。

- ② 立会団：（ET：Escort Team）

国際検査が円滑に実施されるよう、経済産業省及び（独）製品評価技術基盤機構（NITE；ナイト）の職員数名で立会団を構成します。

2. 4 国際検査の期間

国際検査の期間は、通常月曜朝から金曜までですが、スムーズに進捗した場合は、木曜日中に終了することもあります。

検査時間中は、検査団の質問に答えられる方の事業所内待機、及び、担当者の方の検査団との同行をお願いします。

2. 5 国際検査の大まかな流れ

【検査初日】

① 装備品のセットアップ

検査団・立会団は、朝9時頃事業所にタクシー等で到着後、着替えや装備品（パソコン、持ち運び式プリンター等）のセットアップを概ね30分程度で行います。

② 概要説明

通告から検査初日までの間に事業所に用意していただいた検査前概要説明（PIB）資料（実態調査の際にあらかじめ作成していただきます。）に基づき、概ね1時間程度で事業所の概要を説明して頂きます。資料は英語で準備していただきますが、当日の説明は、通訳が同行し、立会団及び事業所のご関係の皆様もご説明を正しく理解できるように、日本語をお願いします。以後の検査における説明や質問への回答も、日本語で行ってください。

③ サイトツアー

本格的な調査の前に、事業所内の表2剤生産・加工・消費プラント、表2剤以外のプラント、倉庫、排ガス・排水処理施設、ユーティリティ設備、研究開発施設等を実地案内していただきます。

④ 施設検査／記録検査

検査団は、順次、施設検査と記録検査を実施します。二手に分かれ、同時並行で行う場合もあります。

施設検査では、原料から製品になるまでの工程及び現物在庫を確認します。その際、プラント／建物の名称や構造、反応器の容量・材質、合成反応の種類、建物の換気状況、検知器の有無等が質問されます。

他方、記録検査では、過去3暦年分の対象物質／プラントごとの生産量／加工量／消費量及び対象物質の出荷量／在庫量、プラントの生産能力、用途・目的、生産／加工／消費ごとの製品分類コード、事業所で取り扱う化学物質の確認等が行われます。

⑤ 試料分析

通常の国際検査では、分析装置を持ち込むことはありませんが、年に1回程度、分析装置を持ち込み現地で分析を行う「分析付検査」が行われています。こ

の場合、上記の施設検査・記録検査に加え、検査団が、事業所内の任意の場所から試料を採取し、申告されていない化学物質（表1剤、表2剤などの「表剤」）がないかなどを、持ち込んだ分析機器を使用して検査します。また、検査団の分析が正当であることを確認するため、原則として日本側の立会団も同様の分析機器を持ち込み、対抗分析を行います。

⑥ 退出

夕方、初日の検査終了後、検査団・立会団は退出します。

（退出前に検査団がオランダのOPCW本部にFAXをする場合もあります）
検査が順調であれば、事業所の通常の業務時間を超えて行われることはありません。

【検査2日目以降】

施設検査及び記録検査の続きが行われます。

① 暫定報告書（案）の提示

検査3日目から4日目にかけて、検査団が検査結果の暫定報告書（案）を作成し、立会団・事業所に提示します。

② 暫定報告書（案）の調整・確定

日本側（事業所、立会団）で、提示された内容の確認を行い、検査団の認識や記述に誤りがあれば修正を求めるなど、調整を行います。調整が済めば、暫定報告書が作成され、検査団長と立会団長が署名することでセットされます。

なお、検査団の帰国後、暫定報告書の内容に基づいた最終報告書が送付されます。最終報告書が正しいか（暫定報告書から大きな変更点はないか）を改めて確認していただき、問題なければ最終報告書がセットされます。

なお、本法が国会で可決された際、「風評被害を未然に防止するため、適切な措置を講ずること」との附帯決議が附されたため、暫定報告書及び最終報告書は、対外的に公表はいたしません。また、事業所に対して検査が行われた旨もOPCW、経済産業省、NITE以外の組織団体に知られることはありません（事業所が自ら事実公表することは問題ありません。）。

③ 検査終了

すべての検査が終了し、検査団・立会団は退出します。

（退出前に検査団がオランダのOPCW本部にFAXをする場合もあります）

Ⅲ. 実態調査の概要

実態調査においては、将来の国際検査がスムーズに実施されるよう、概ね次の点を確認させていただきます。いずれも国際検査の段階で準備が完了していればよく、実態調査の前の段階では、すべての資料等が揃っていなくても構いません。

- ・ 検査前概要説明（P I B）資料
- ・ サイトツアーのルート
- ・ 各施設の状況
- ・ 記録類の作成、保管状況
- ・ 庶務的事項（作業室の確保、国際検査時の昼食の手配、通信機器の使用可否等）

Ⅳ. 実態調査前のお願い

実態調査をスムーズに行うため、できるだけ実態調査までに以下の準備をお願いします。実態調査においては、準備が十分か、つまり、いつ国際検査の通告が行われたとしても、短期間の準備でスムーズに対応できる状態にあるかを確認させていただきます。

4. 1 資料の準備

① 検査前概要説明（P I B）資料

別添1のひな形、及び別添2の記載説明・注意事項に沿ってP I B資料を作成してください（既存資料の流用も可能ですが、その場合は、別添1及び別添2の内容を勘案して修正してください）。また、P I B資料およびAppendix B、Cの各項目（各頁）において、記載内容に前回国際検査時から変更がある場合には、記入例に倣って、Appendix F（手持ち資料、日本語で可）に変更時期とともにご記入ください。

② 施設検査時の説明資料

施設検査では、プラント／建物の名称（略称・正式名称）や構造、反応器の容量・材質や合成反応の種類、建物の換気状況、検知器の有無などが確認されます。また、関連施設につきましても確認がなされますので、P I B資料のAppendix B、Appendix Cにおいて、対象プラント及び関連施設に関する説明資料を作成してください。

事業所内に、表3剤対象プラント、DOC（有機化学物質）対象プラント、DOC対象外プラントがある場合、Appendix C に個別に記載ください。

DOC対象プラントの場合、製造しているものが、DOC（有機化学物質）か、PSF（特定有機化学物質）かについても記載してください。

③ 記録検査時の説明資料

- ・検査では、事業所から申告されている事業所名・事業所住所等が正しいことを確認するために、ISO認証書や公的文書を確認しますので、事前に資料を準備してください。
- ・数量については、届出／申告しきい値以下であっても、プラントごと・第一種指定物質ごとの、生産／加工／消費の実績数量総括表（ト）（過去3暦年実績届出における各月（1月～12月）と検査直近日までの実績数量）を準備してください。（例：Appendix D）
 - ※前回の検査以降のデータが必要となる場合がありますので、同一の書式にてご準備ください。
 - ※検査日には、当日の実在庫の現物と記録の照合を行いますのでご準備ください。
- ・製造実績を確認する際、事業所の集計方法（例えば、生産月報や生産日報を製造量集計システムに入力したり、エクセルで集計して確認する手順及びその記録等）を確認します。

更に、各総括表の裏付けとなる根拠を求められますので、求めに応じて提示できるよう各種資料を準備してください（例えば、生産月報や生産日報等の既存の資料（日本語で可））。
- ・生産、加工、消費を行った第一種指定物質が化学兵器の開発・生産等に転用されていないことを確認するため、原料の受入れ・投入の記録、生産／加工／消費した第一種指定物質の他プラントへの移送記録、出荷量／在庫量の根拠資料など確認しますので、併せて資料を準備してください。
- ・事業所に特定物質や未申告の第一種指定物質・第二種指定物質（表3剤）ないことを検証するために、事業所で取扱う全て（製品・原料・試薬）の化学物質を確認します。

Appendix Eを参考に取扱い化学物質の資料を準備してください。（CAS番号は必要です。物質名はでききるだけ英語で記載してください。既に取扱い化学物質に関するデータベースがあればご活用ください。第一種指定物質、第二種指定物質がある場合はそれらの目的、用途（添加剤・溶剤等）、製造の有無、取扱量について説明できるようにしてください。
- ※ 検査団は、事業所の申告内容が正しいと判断するに至った根拠資料（事業所が提供した生産月報や生産日報、バッチ記録、製造量集計システムなど）の英語名称を報告書に記載するために必ず聞いてきますので、あらかじめ英語名称をご検討ください。

④ 健康と安全に関する規則

別添1PIB資料ひな形(案)の「7. Health and Safety Regulations」の記載内容に加筆・修正の必要があるか確認してください。

⑤ 通訳者秘密保持誓約書

通訳者秘密保持誓約書が必要な場合、ひな形（別添3）を使用するか否かを確認してください。通訳者秘密保持誓約書は、事業所と、検査団が雇用する国内の通訳会社との間で結ぶものですが、立会団がその仲介をさせていただきます。

なお、経済産業省職員及びNITE職員は、国家公務員法上の守秘義務が課せられています。

4. 2 国際検査時における部屋の確保の確認

① 会議室（検査会場）

検査前概要説明や記録検査を行う会場として、検査団、立会団、通訳、事業所の方々、合計最大20名程度が着席できる会議室が確保可能か確認してください。（検査期間中、日本側の立会団・通訳8名程度の作業室・控室としても、検査会場を使用させていただきます。）

② 検査団作業室

検査団2～4名（通常）の作業室・控室として施錠可能な部屋が確保可能か確認してください。

③ 検査団分析室、及び対抗分析室

国際検査が分析付検査である場合、検査団、及び立会団が分析を行えるよう、検査団作業室とは別に2つの分析室が必要となります。空調があり、分析機器を設置できるスペース（20㎡程度）が確保できる部屋の準備をお願いします。特に検査団分析室については施錠が可能な部屋としてください。（別添4のチェックシートをご参照ください）

4. 3 チェックリストの活用

実態調査がスムーズに行われるよう、別添4のチェックリストを活用して準備をお願いします。なお、リスト後半の「分析付検査関連」については、分析付検査が行われる頻度は必ずしも高くはありませんが、事前の十分な準備が必要となりますので、あらかじめのご検討をお願いします。

別添 1

PIB資料ひな形（案）

Pre-inspection Briefing

METI CHEMICAL CO., LTD.

YY PLANT

DD MMM , 20XX

Contents:

1. Location of the Plant Site and Airport
2. Vicinity of the Plant Site and Hospitals
3. Outline of the Company and the Plant Site
(As of DD MMM, 20XX)
4. Organisation of the Plant Site
5. Layout of the Administration Office
6. General Layout of the Plant Site and
Route map for the site tour
7. Health and Safety Regulations
8. Description of the Schedule 2 Chemical(s)
(Production) (XXXX)

Appendix A: List of the site representatives

Appendix B: Plant description

Appendix C: Facility description

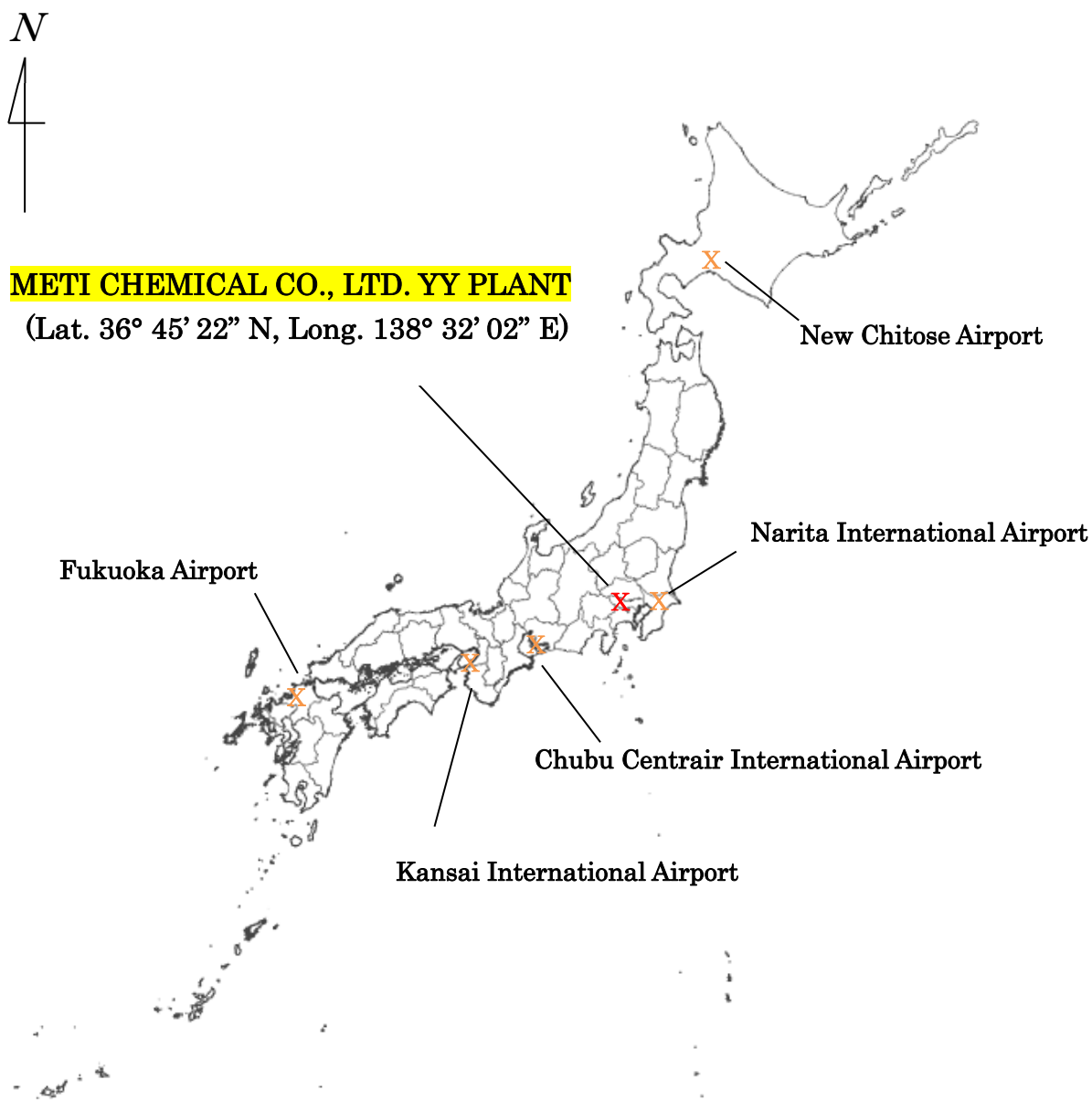
Appendix D: Material balance

Appendix E : All handling chemical list

Appendix F : Changes after last inspection or
Declaration

1. Location of the Plant Site and Airport

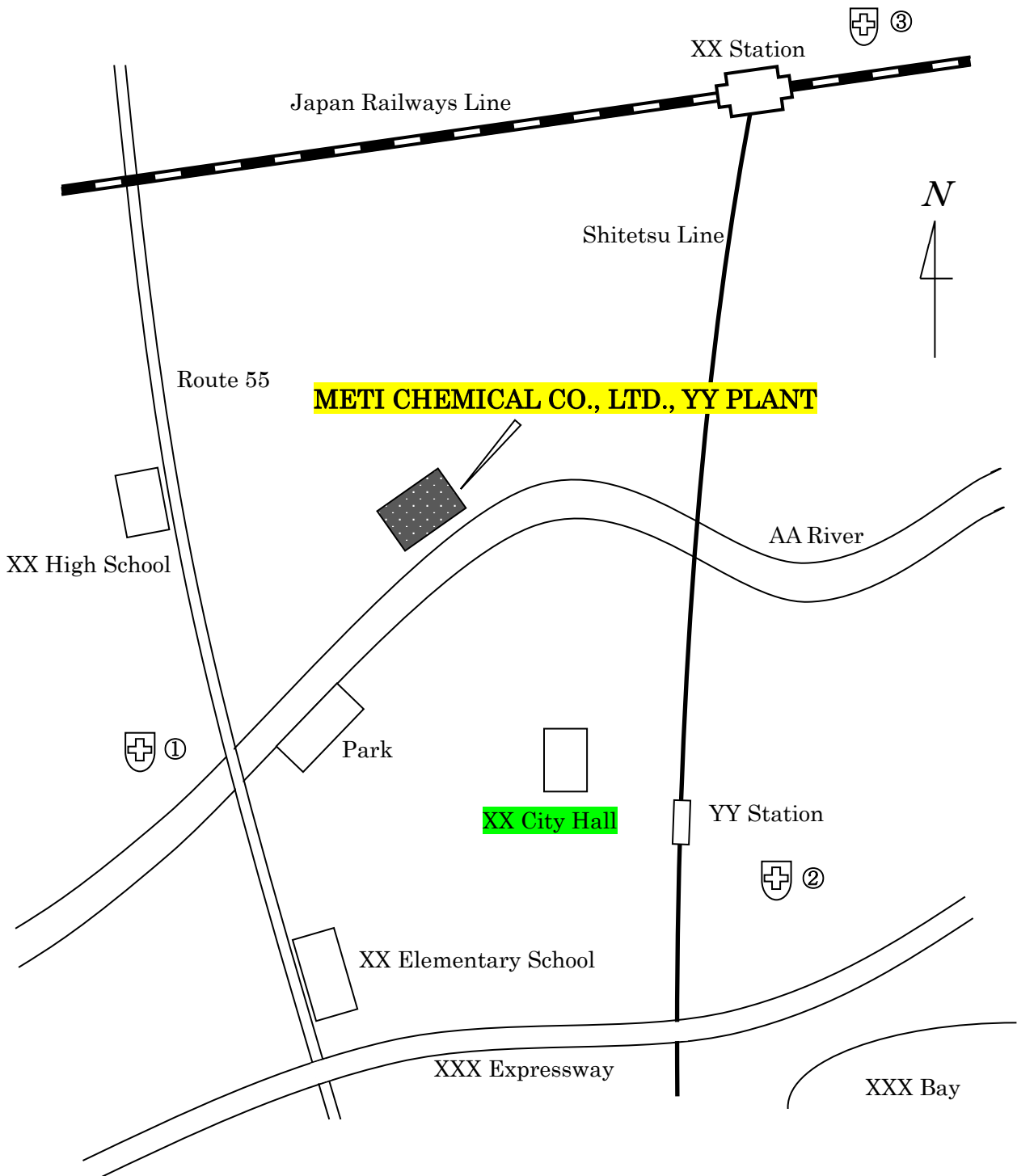
(ex. A direct distance between the plant site and POE is XXX km.)



出典: 国土地理院ウェブサイト

Source: Geospatial Information Authority of Japan

2. Vicinity of the Plant Site and Hospitals



Hospital	Location	Distance	Required Time
ABC City Hospital	①	1.0 km	About 5 min. by car
DEF General Hospital	②	1.3 km	About 7 min. by car
GHI Hospital	③	1.5 km	About 8 min. by car

3. Outline of the Company and the Plant Site (as of DD MMM, 20XX)

1. Outline of the Company

- Name of the Company:

- Address of the head office:

- Establishment:

- Capital amount (yen): ○○ yen as of DD MM, 20YY

2. Outline of the Plant Site

- Name of the Plant Site:

- Address:

- Location:

- Total area: XX ha.

- Establishment: MMM, 19XX

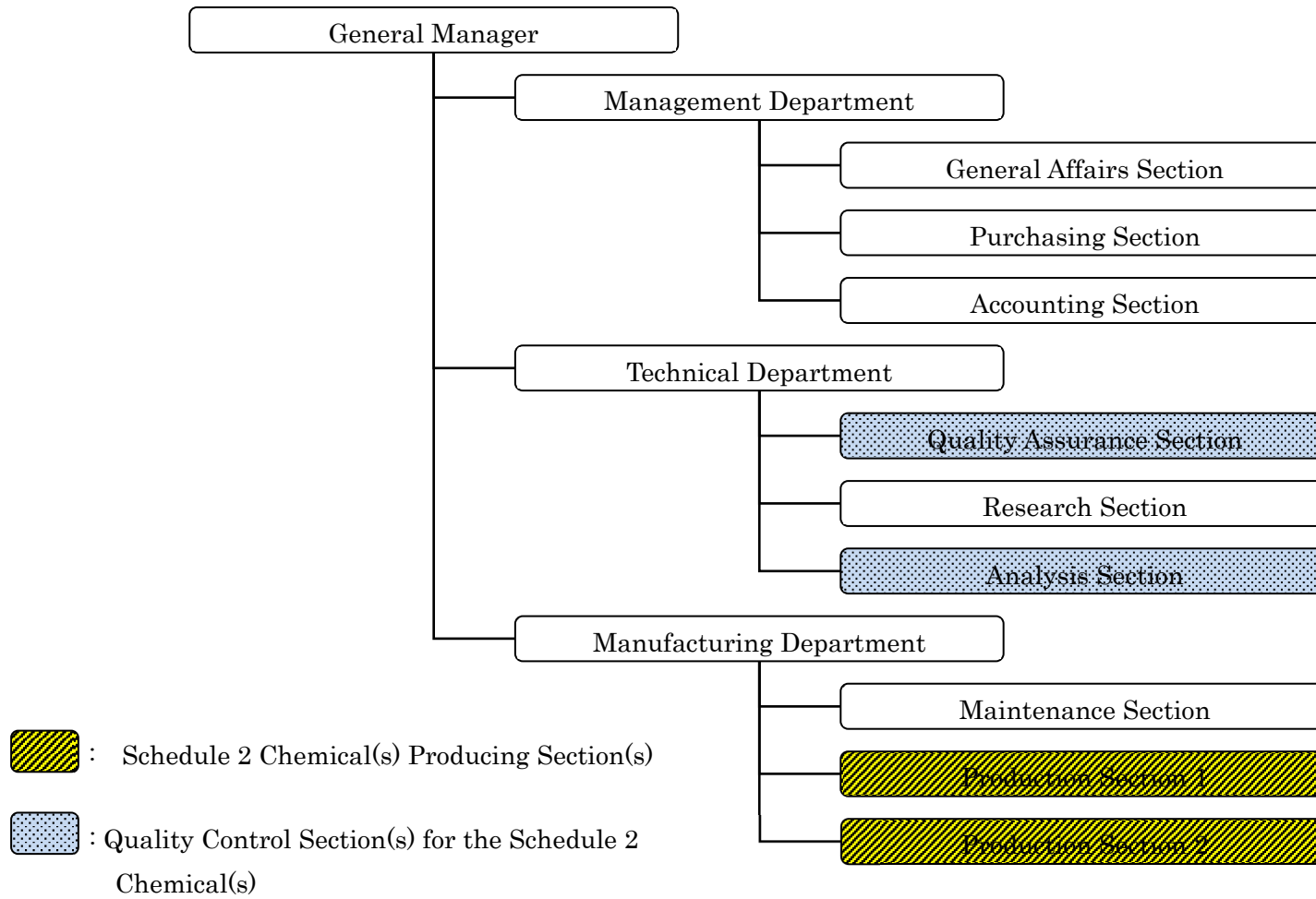
- Employees:

- Working time: (Production Section :)

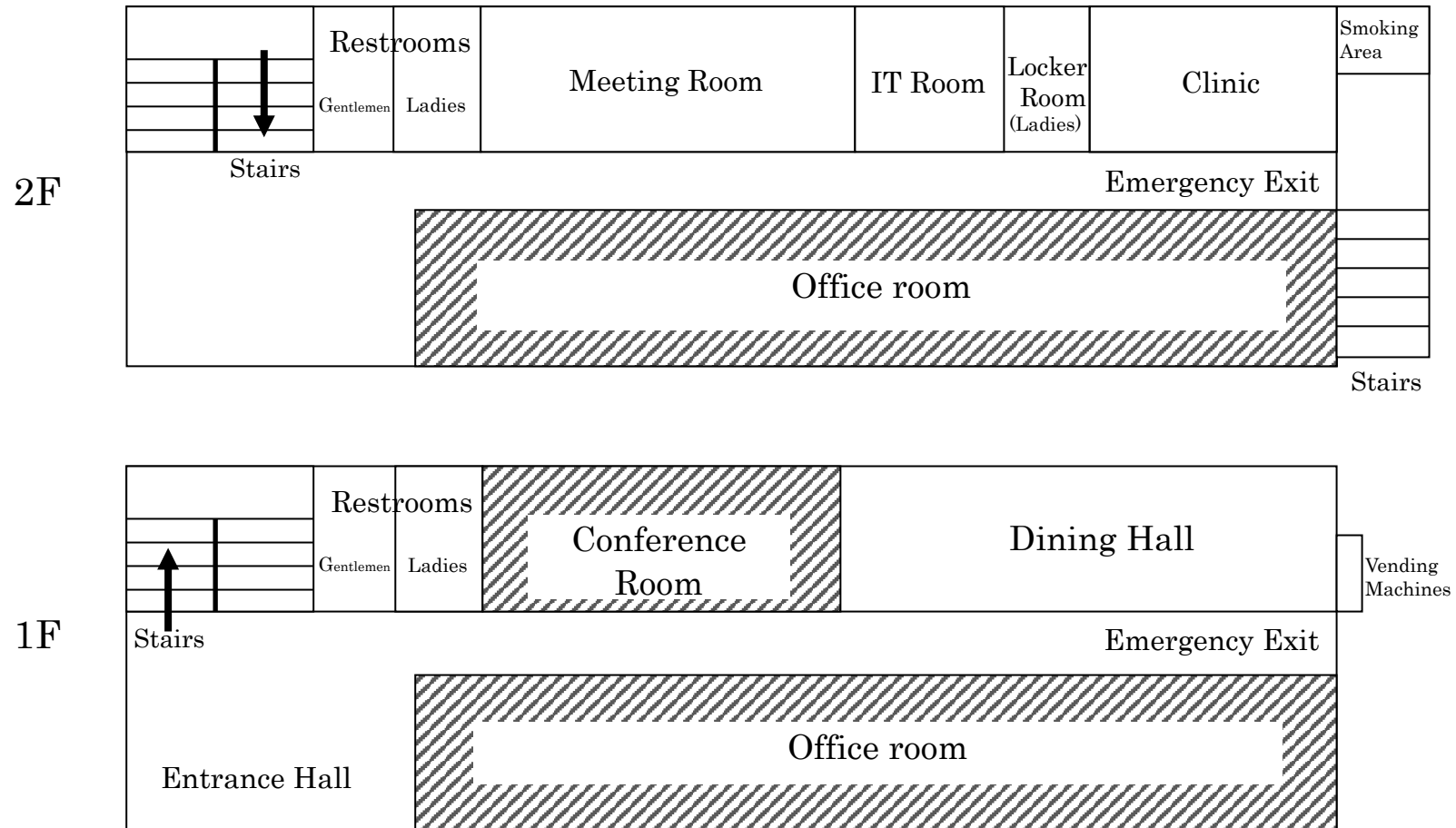
- Accredited certifications


- Features and Main Products:

4. Organisation of the Plant Site

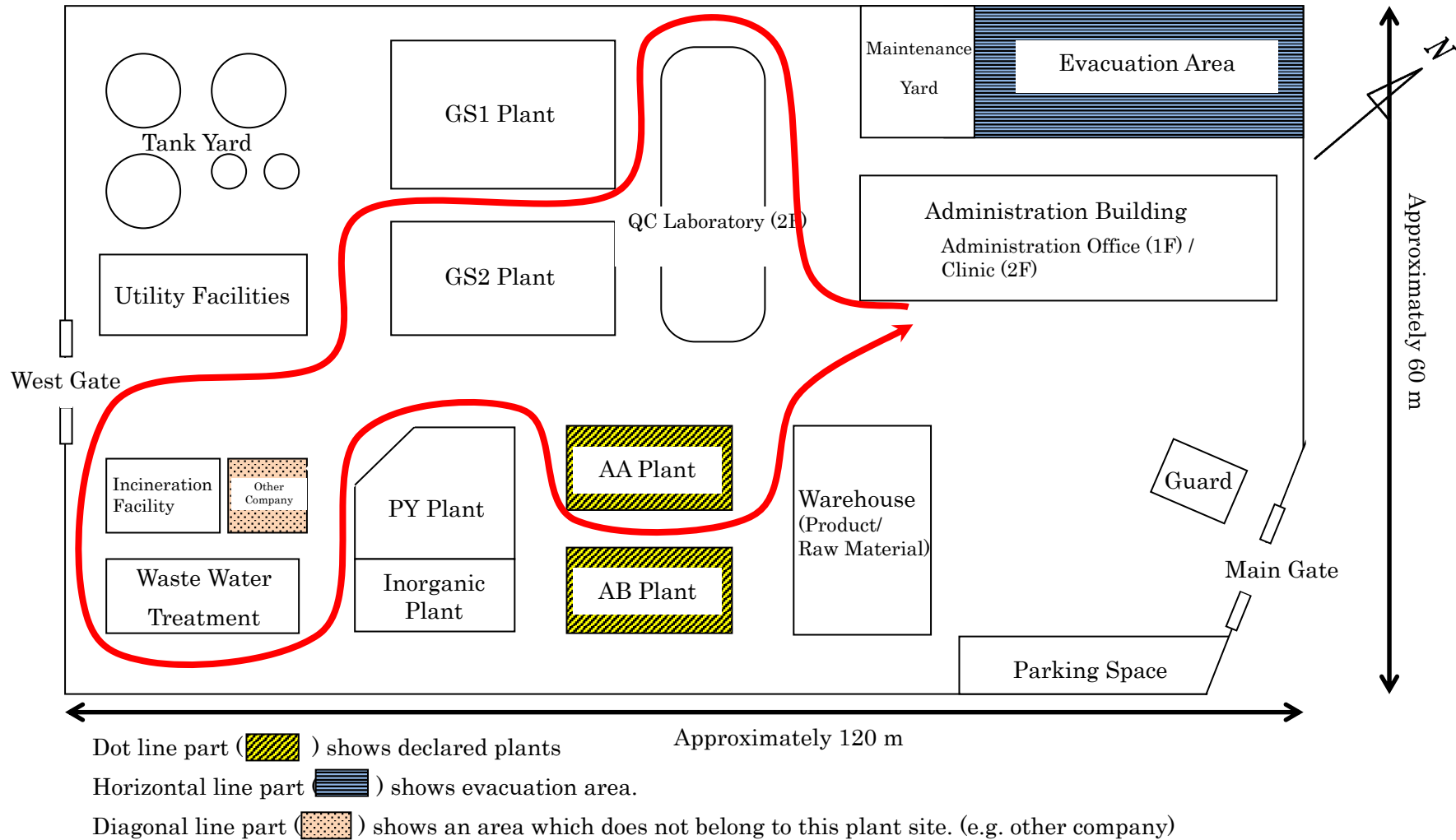


5. Layout of the Administration Office



Shaded parts () show off-limits area.

6. General Layout of the Plant Site and Route map for the site tour



7. Health and Safety Regulations

METI Chemical Co., Ltd., YY Plant

1. Entry to the Plant Site

- (a) Alcoholic drinks shall not be brought on to the plant site.
- (b) Anyone who is drunk shall be prohibited from entering the plant site.
- (c) Dangerous equipment or substances shall not be brought on to the plant site.
- (d) The Inspection Team shall be escorted by representative(s) of the Inspected State Party, when it enters or leaves the plant site.

2. Administration Office

- (a) The Inspected State Party will indicate the areas that are available to the Inspection Team in the pre-inspection briefing. Access to other parts of the office is subject to the approval of the Inspected State Party.
- (b) Smoking is permitted only in the designated areas.
- (c) Use of fire or electricity without permission is prohibited.

3. Plant Area

- (a) Bringing ignition sources and hazardous materials into the plant area is prohibited.
- (b) Use of fire or electricity without permission is prohibited.
- (c) Access to the plant by the Inspection Team is allowed in the presence of the representative(s) of the Inspected State Party, and the Inspection Team shall follow the directions of the plant site personnel.
- (d) The Inspection Team shall not operate and/or touch any equipment instruments, raw materials or products belonging to the plant site in any area of the plant.
- (e) Use of equipment that generates electricity (static) or sparks in the plant area is restricted to the explosion-proof type. If the Inspection Team deems it necessary to use such equipment, its use shall be subject to the approval of the Inspected State Party. Use of mobile phone is prohibited in the plant area.
- (f) In general, entering the following area is prohibited:
 - 1) Where there are suggestions of, or signs indicating, "Danger" or "No Entry" .
 - 2) Where heavy-load machines are in operation.
 - 3) Where welding operations using gas or electricity are taking place.
 - 4) Where equipment is being dismantled.
 - 5) Where equipment is being operated.
 - 6) Where construction is under way.
 - 7) Inside of apparatuses or pits.

If the Inspection Team deems it necessary to inspect any of the above-mentioned areas, such inspection is subject to negotiations between the Inspected State Party and the Inspection Team.

4. Medical Assistance

To facilitate medical assistance to be provided by the Inspected State Party, the Inspection Team leader shall inform the Inspected State Party of the kind and extent of the medical care needed by the sick or injured Inspection Team member. The Inspected State Party will provide the requested medical care to the extent possible.

5. Evacuation Procedures

The Inspection Team shall obey the directions of the plant site personnel. The designated evacuation point will be indicated in the pre-inspection briefing.

Date: _____

Signature: _____

8. Description of the Schedule 2 Chemical Production (XXXX)

IUPAC Chemical Name: (CASRN:)

Common/Trade Name :

1. Reaction Formula

2. Process Description

3. Block flowchart of the Production

4. Purpose of the Schedule 2 chemical production

5. Declared Plant(s) Description

6. Production Capacity

Appendix A: List of the site representatives

Name	Title

Appendix B は別添のエクセル版にご記入ください。

Appendix B: Plant description

CONFIDENTIAL

	No.	Plant name	Type of chemical activity	Reaction type/process description	Technical features including equipment	Plant structure	Directly associated infrastructure
(和訳)		プラント名称	プラントの目的 (〇〇の生産)	反応タイプ (Addition、Condensation等) 反応の説明 (バッチ式／連続式) (反応のステップ: 原料投入→反応→抽出→乾燥 等)	設備を含む技術的特徴 (反応器の特徴)	Plantの構造 (建屋や排気方式等)	直接関連するインフラストラクチャー (制御室、スクラバー、蒸留塔、タンク等)
記入例	1	P1	Production of TDG (Bis(2-hydroxyethyl)sulfide)	<ul style="list-style-type: none"> • Substitution reaction • Batch Process • Raw material charge into the reactor → Reaction → Filling to drums 	GL (Agitated reactors)	2 levels cement corrugated enclosed building, natural ventilation	Control room with DCS Tank (Raw materials: SS) Warehouse (Products) In Process Lab. (GC, HPLC, Glassware) Gas detector (EO) Fire Alarm
(和訳)	1	P1	チオジグリコール(ビス(2-ヒドロキシエチル)スルフィド)の生産	<ul style="list-style-type: none"> • 置換反応 • バッチプロセス • 反応器に原料投入→反応→ドラム充填 	GL(攪拌機付き)	(2階建ての波形のセメントで囲まれたビル、自然換気)	DCS制御の制御室 タンク(原料: ステンレス) 倉庫(製品) 工程ラボ (GC、HPLC、ガラス器具) ガス検知器(酸化エチレン) 火災報知器

Appendix C: Facility description

CONFIDENTIAL

	No.	Facility name	The purpose of the facility	Facility description	Technical features including equipment	Facility structure	Directly associated infrastructure Other information	
	(和訳)	施設名	施設の目的	施設の説明	設備を含む技術的特徴 (測定器の特徴等)	施設の構造 (建屋や排気方式等)	直接関連するインフラストラクチャー (制御室、スクラバー、タンク、検知器等)	
倉庫等 Storage	記入例	1	Storage and warehouse	Storage of products, intermediates and raw materials	<ul style="list-style-type: none"> Products warehouse Liquid products, powder products Raw materials warehouse Liquid raw materials, powder raw materials Materials warehouse Empty drum, empty FIBC Tank farm: liquid raw materials, intermediates, LNG 	<ul style="list-style-type: none"> Warehouse: Single level cement corrugated enclosed building with natural ventilation 	<ul style="list-style-type: none"> Warehouse: Fire alarm Tank farm: Flammable gas detector 	
	(和訳)	1	保管、倉庫	製品、中間体、原材料の保管	<ul style="list-style-type: none"> 製品倉庫: 液体製品、粉体製品 原料倉庫: 液体原料、粉体原料 資材倉庫: 空ドラム、空フレコンパック タンクファーム: 液体原料、中間体、LNG 	<ul style="list-style-type: none"> 製品: 冷蔵保管、常温保管 原材料: 常温保管 	<ul style="list-style-type: none"> 倉庫: 1階建ての波形のセメントで囲まれた自然換気ビル 	<ul style="list-style-type: none"> 倉庫: 火災警報器 タンクファーム: 可燃性ガス検出器
廃棄物 Waste	記入例	2	Waste water treatment	Waste water treatment	<ul style="list-style-type: none"> Activated sludge treatment All industrial wastewater gather to the primary pit → sedimentation → activated sludge treatment → measurement → discharge to the river 	<ul style="list-style-type: none"> Automatic measurement (pH, COD, SS, total N, total P) Titration measurement 	<ul style="list-style-type: none"> 2 levels cement corrugated enclosed building with natural ventilation Control room is on 1F, Measurement room is on 2F 	<ul style="list-style-type: none"> Control room, measurement room Primary pits made of concrete Solid waste is processed by outside contractors
	(和訳)	2	排水処理	排水処理	<ul style="list-style-type: none"> 活性汚泥処理 一次ピットへの全工場排水収集→沈殿→活性汚泥処理→中和処理→測定→河川への放流 	<ul style="list-style-type: none"> 自動測定 (pH, COD, SS 全窒素、全リン) 滴定測定 	<ul style="list-style-type: none"> 2階建ての波形のセメントで囲まれた自然換気ビル 1Fは制御室、2Fは測定室 	<ul style="list-style-type: none"> 制御室、測定室 一次ピットはコンクリート製 固形廃棄物は外部業者で処理
	記入例	4	Off-gas Incinerator	Off-gas Treatment	<ul style="list-style-type: none"> Off-gas Incineration → Cooling → Dust removal → Release to air 	<ul style="list-style-type: none"> Automatic measurement (O₂, CO, NO_x, Dust) Fuel: Heavy oil 	<ul style="list-style-type: none"> 3 level concrete building with natural ventilation Workplace is on 1F, Control room and the measurement room are on 2F 	<ul style="list-style-type: none"> Control room, measurement room, water scrubber, tank.
	(和訳)	4	排ガス燃焼炉	排ガス処理	<ul style="list-style-type: none"> 工場排ガス燃焼→冷却→除塵→大気放出 	<ul style="list-style-type: none"> 自動測定 (O₂, CO, NO_x, ばい塵) 燃料: 重油 	<ul style="list-style-type: none"> 3階建て自然換気コンクリートビル 1階は作業場、2階は制御室と測定室 	<ul style="list-style-type: none"> 制御室、測定室、スクラバー、タンク
表2剤以外のプラント non-Sched.2 Plant	記入例	5	DOC Plant B1	Production of Agrochemical intermediate	<ul style="list-style-type: none"> DOC Batch Process Raw material charge into the reactor → Reaction → Centrifugation Drying → Product packaging 	<ul style="list-style-type: none"> GL (Agitated reactors) SS (Agitated reactors) 	<ul style="list-style-type: none"> 2 levels cement corrugated enclosed building with natural ventilation 	<ul style="list-style-type: none"> Control room with DCS Alkali scrubber Gas detector (NH₃)
	(和訳)	5	DOCプラント B1	農業中間体の製造	<ul style="list-style-type: none"> DOC バッチプロセス 反応器に原料投入→反応→遠心分離→乾燥→製品梱包 	<ul style="list-style-type: none"> ガラスライニング (攪拌機付き) ステンレススチール (攪拌機付き) 	<ul style="list-style-type: none"> 2階建ての波形のセメントで囲まれた自然換気ビル 	<ul style="list-style-type: none"> DCS制御の制御室、アルカリスクリューパー 検知器 (NH₃)
	記入例	6	Non DOC Plant B2	Mixing of liquid products	<ul style="list-style-type: none"> non-DOC Batch Process Raw material charge into the reactor (vessel) → Mixing → Filling 	<ul style="list-style-type: none"> SS (Agitated reactors) 	<ul style="list-style-type: none"> 2 levels cement corrugated enclosed building with natural ventilation 	<ul style="list-style-type: none"> Control room with DCS, Alkali scrubber
	(和訳)	6	DOC以外のプラント B2	液体製品の混合	<ul style="list-style-type: none"> non-DOC バッチプロセス 容器 (反応器) に原料投入→混合→充填 	<ul style="list-style-type: none"> ステンレススチール (攪拌機付き反応器) 	<ul style="list-style-type: none"> 2階建ての波形のセメントで囲まれた自然換気ビル 	<ul style="list-style-type: none"> DCS制御の制御室、アルカリスクリューパー
メンテナンス Maintenance	記入例	7	Maintenance yard	Mechanical repair	Contractors workplace	<ul style="list-style-type: none"> Drills, Welding machines and other tools 	<ul style="list-style-type: none"> Single level cement corrugated enclosed building with natural ventilation 	<ul style="list-style-type: none"> Fire alarm
	(和訳)	7	メンテナンスヤード	機械修理	請負業者の作業場	<ul style="list-style-type: none"> ドリル、溶接機、その他ツール 	<ul style="list-style-type: none"> 1階建ての波形のセメントで囲まれた自然換気ビル 	<ul style="list-style-type: none"> 火災警報器
ユーティリティ Utility	記入例	8	Utilities	Plant operation	<ul style="list-style-type: none"> Substation room Boiler Industrial water Cooling tower 	<ul style="list-style-type: none"> Boiler fuel: LNG 	<ul style="list-style-type: none"> Boiler: Single level cement corrugated enclosed building with natural ventilation 	<ul style="list-style-type: none"> Blower, exhaust fan
	(和訳)	8	ユーティリティ	工場稼働	<ul style="list-style-type: none"> 変電室 ボイラー 工業用水 冷却塔 	<ul style="list-style-type: none"> ボイラー燃料: 液化天然ガス 	<ul style="list-style-type: none"> ボイラー: 1階建ての波形のセメントで囲まれたビル、強制換気 	<ul style="list-style-type: none"> 送風機、排風機
実験室 Laboratory	記入例	9	Laboratories	R&D: Development of new products, Process development, Process improvement QC: Raw material inspection, Process inspection, Product inspection	<ul style="list-style-type: none"> QC Laboratory is on 1F of Research building R&D Laboratory is on 2F of Research building 	<ul style="list-style-type: none"> Analytical equipment GC, GCMS, HPLC, TG, DSC, FTIR, Karl Fischer, Glasswares 	<ul style="list-style-type: none"> Single level cement corrugated enclosed building with natural ventilation 	<ul style="list-style-type: none"> Exhaust of the draft chamber is treated by alkali scrubber Fire alarm
	(和訳)	9	実験室	R&D: 新製品開発, 工程開発, 工程改善 QC: 原料検査, 工程検査, 製品検査	<ul style="list-style-type: none"> 研究棟の1FはQC, 2FはR&D 	<ul style="list-style-type: none"> 分析機器 GC, GCMS, HPLC, TG, DSC, FTIR, カールフィッシャー, ガラス器具 	<ul style="list-style-type: none"> 1階建ての波形のセメントで囲まれた自然換気ビル 	<ul style="list-style-type: none"> ドラフトチャンバーの排気はアルカリスクリューパー処理 火災報知器
診療所 Medical room	記入例	10	Medical room	<ul style="list-style-type: none"> The primary treatment of injury or illness Health management of employees 	<ul style="list-style-type: none"> Qualified nurses is available in the day time Industry doctor comes to the factory once a month All plants are equipped with first aid box For the medical emergency will be treated at a nearby hospital 	<ul style="list-style-type: none"> Examination room, bed Over-the-counter medicines 	<ul style="list-style-type: none"> Medical room is on 1F of office building with natural ventilation 	<ul style="list-style-type: none"> Fire alarm
	(和訳)	10	診療所	<ul style="list-style-type: none"> けがや病気の一次処置 従業員の健康管理 	<ul style="list-style-type: none"> 昼間は資格をもつ看護師が在席 産業医が月一回来工 全ての工場に救急箱設置 緊急時は近くの病院で処置 	<ul style="list-style-type: none"> 診察室、ベッド 市販薬 	<ul style="list-style-type: none"> 自然換気の事務棟1F 	<ul style="list-style-type: none"> 火災警報器

Appendix D は別添のエクセル版にご記入ください。

Appendix D: Material balance

CONFIDENTIAL

Schedule2 Chemical name () CAS RN (unit: t		
Year	Item	Unit	Jan.	Feb.	Mar.	Apr.	May	June	July	Aug.	Sep.	Oct.	Nov.	Dec.	Year total	
n-3 (3年前)	Opening stock (月初在庫)	t														
	Purchase (domestic) (国内購入)	t														
	Import (輸入)	t														
	Production (生産)	Batch size (バッチサイズ)	t/ batch													
		Concentration (濃度)	%													
		Number of Batch(バッチ数)	n													
		Adjustment amount(補正值)	t													
		Production amount (生産量)	t													
	Processing (加工)	Batch size (バッチサイズ)	t/ batch													
		Concentration (濃度)	%													
		Number of Batch(バッチ数)	n													
		Adjustment amount(補正值)	t													
		Processing amount (加工量)	t													
	Consumption (消費)	Batch size (バッチサイズ)	t/ batch													
		Concentration (濃度)	%													
		Number of Batch(バッチ数)	n													
		Adjustment amount(補正值)	t													
Consumption amount (消費量)		t														
Transfers (domestic) (国内移送/販売)	t															
Export (輸出)	t															
Closing stock (月末在庫)	t															
n-2	Opening stock	t														
	Purchase (domestic)	t														
	Import	t														
	Production	Batch size	t/ batch													
		Concentration	%													
		Number of BATCH	n													
		Adjustment amount	t													
		Production amount	t													
	Consumption	Batch size	t/ batch													
		Concentration	%													
		Number of BATCH	n													
		Adjustment amount	t													
		Consumption amount	t													
	Processing	Batch size	t/ batch													
		Concentration	%													
		Number of BATCH	n													
		Adjustment amount	t													
Processing amount		t														
Transfers (domestic)	t															
Export	t															
Closing stock	t															
n-1	Opening stock	t														
	Purchase (domestic)	t														
	Import	t														
	Production	Batch size	t/ batch													
		Concentration	%													
		Number of BATCH	n													
		Adjustment amount	t													
		Production amount	t													
	Consumption	Batch size	t/ batch													
		Concentration	%													
		Number of BATCH	n													
		Adjustment amount	t													
		Consumption amount	t													
	Processing	Batch size	t/ batch													
		Concentration	%													
		Number of BATCH	n													
		Adjustment amount	t													
Processing amount		t														
Transfers (domestic)	t															
Export	t															
Closing stock	t															
n	Opening stock	t														
	Purchase (domestic)	t														
	Import	t														
	Production	Batch size	t/ batch													
		Concentration	%													
		Number of BATCH	n													
		Adjustment amount	t													
		Production amount	t													
	Consumption	Batch size	t/ batch													
		Concentration	%													
		Number of BATCH	n													
		Adjustment amount	t													
		Consumption amount	t													
	Processing	Batch size	t/ batch													
		Concentration	%													
		Number of BATCH	n													
		Adjustment amount	t													
Processing amount		t														
Transfers (domestic)	t															
Export	t															
Closing stock	t															

Appendix E は別添のエクセル版にご記入ください。

Appendix E : All handling chemical list

CONFIDENTIAL

	Category	Products/Raw material/Reagent Common name	Chemical name	CASRN.	Sched. 2	Sched. 3
(和訳)	区分	製品 / 原料 / 試薬 の 通称	物質名	CAS 番号	表 2 剤 (第一種指定物 質)	表 3 剤 (第二種指定物 質)
記入例	Raw material	ABC123	〇〇〇	〇〇	-	-
(和訳)	原料	ABC123	〇〇〇	〇〇	-	-
記入例	Raw material	TEA-80	triethanolamine (2, 2', 2''- Nitrilotriethanol)	102-71- 6		○
(和訳)	原料	TEA-80	トリエタノールアミン (2, 2', 2''-ニトリロトリエタノール)	102-71- 6		○
記入例	Raw material	Phosphorus oxychloride	Phosphoryl chloride	10025- 87-3		○
(和訳)	原料	ホシ塩化リン	ホスフォルルクロライド*	10025- 87-3		○
記入例	Product Reagent (Lab.)	TDG	Bis(2-hydroxyethyl) sulfide	111-48- 8	○	
(和訳)	製品 試薬 (実験室)	TDG	ビス(2-ヒドロキシエチル)スルไฟド* (チオジグリコール)	111-48- 8	○	

Appendix F は別添のエクセル版にご記入ください。

Appendix F : 前回国際検査時からの変更点 (手持ち資料・日本語で可)

※変更点が無い場合には、「無し」とご記入ください。

項目	変更点
PIB 資料 「1. Location of the Plant Site and Airport」	
PIB 資料 「3. Outline of the Company and the Plant Site」	
PIB 資料 「4. Organisation of the Plant Site」	
PIB 資料 「6. General Layout of the Plant Site and Route map for the site tour」	
PIB 資料 「8. Description of the Schedule 2 Chemical Production (XXXX)」	
Appendix B 「Plant description」	
Appendix C 「Facility description」	

P I B 資料ひな形（案）

【記載説明・注意事項】

ホチキス止めにしてください。

資料は、基本的にはA4版でお願いします。
文字がかなり小さくなる等の場合は、当該ページ
をA3版にしていいただければ幸いです。Y7

Pre-inspection Briefing

この資料は、検査を受ける時点の実態に即して作成してください。国際申告書面の記載に実態に即していない情報がある場合は、その情報についてあらかじめ立会団へお知らせください。

METI Chemical Co., Ltd.
YY PLANT
DD MMM, 20XX

国際申告書面に届出した
Plant Site名を記載してくだ
さい。

検査初日の日付を記載してくだ
さい。例：4 March, 2022

Contents:

1. Location of the Plant Site and Airport
2. Vicinity of the Plant Site and Hospitals
3. Outline of the Company and the Plant Site
(As of DD MMM, 20XX)
4. Organisation of the Plant Site
5. Layout of the Administration Office
6. General Layout of the Plant Site and
Route map for the site tour
7. Health and Safety Regulations
8. Description of the Schedule 2 Chemical
Production (XXXX)

例：4 March, 2022

- Appendix A: List of Schedule 2 Chemicals
Appendix B: Plant Site Map
Appendix C: Facility Description
Appendix D: Material Safety Data Sheet (MSDS)
Appendix E: Accident History
Appendix F: Changes after Last Inspection or
Declaration

- ・加工・消費の場合、Productionは、Processing または Consumption と修正してください。
- ・(XXXX) に物質名を入れてください。
- ・例) PFIB (1,1,3,3,3-Pentafluoro-2-(trifluoromethyl)-1-propene) を生産。消費している場合は Production/Consumption (PFIB)
- ・Summary に第一種指定物質の生産 (加工・消費) 概要を記載。

事業所及び空港位置

1. Location of the Plant Site and Airport

(ex. A direct distance between the plant site and POE is XXX km.)



方位を忘れずに入れてください。

POEからの距離

METI CHEMICAL CO., LTD. YY PLANT

(Lat. 36° 45' 22" N, Long. 138° 32' 02" E)

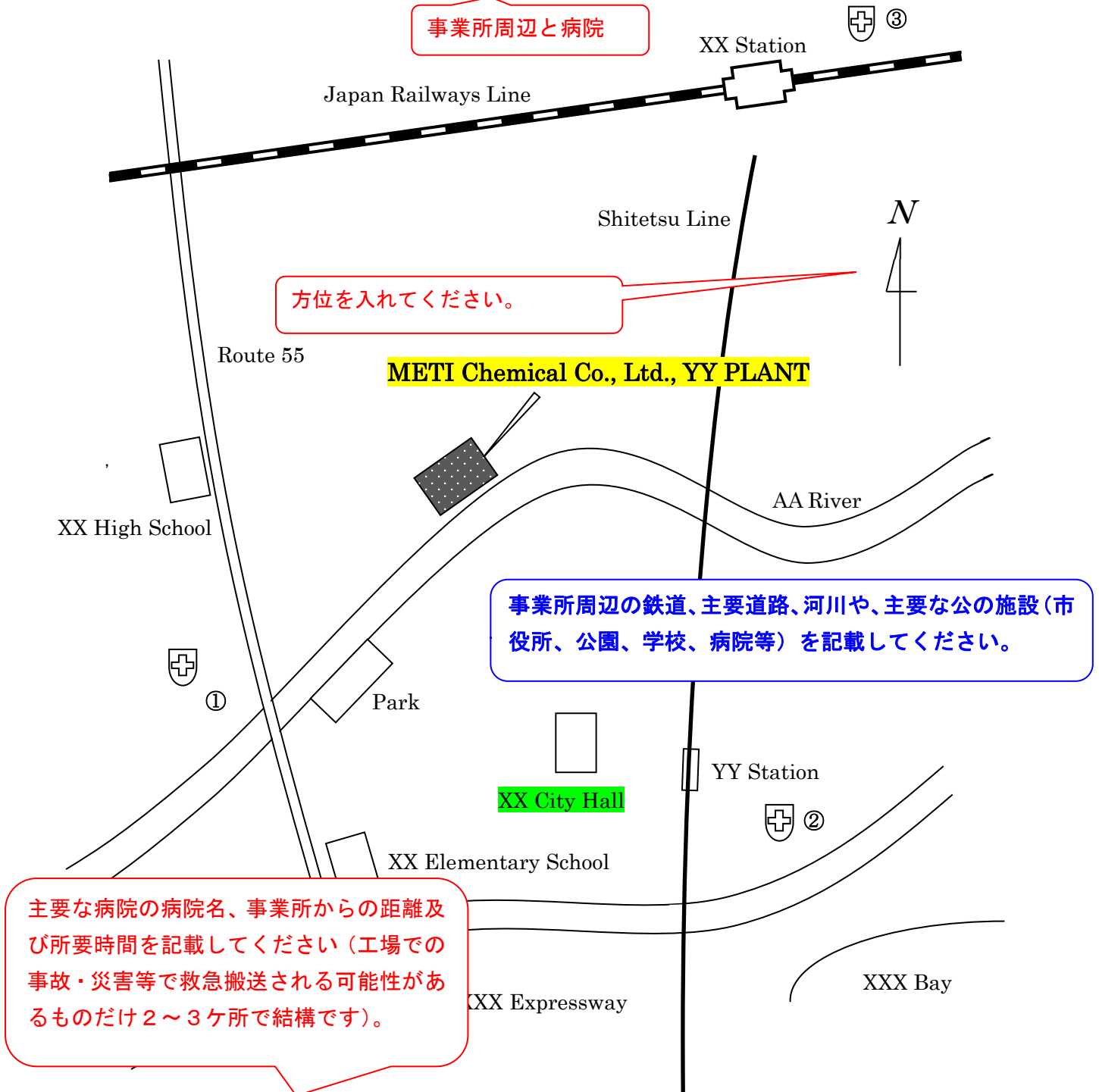


出典：国土地理院ウェブサイト

Source: Geospatial Information Authority of Japan

今回検査団が入出国で使用しない空港は削除してください（検査団の入出国空港は、通告連絡元の経済産業局担当者にお問い合わせください）。

2. Vicinity of the Plant Site and Hospitals



Hospital	Location	Distance	Required Time
ABC City Hospital	①	1.0 km	About 5 min. by car
DEF General Hospital	②	1.3 km	About 7 min. by car
GHI Hospital	③	1.5 km	About 8 min. by car

3. Outline of the Company and the Plant Site (as of DD MMM, 20XX)

例 : 4 March, 2022

会社と事業所の概要 (〇年〇月〇日時点)

1. Outline of the Company

会社概要

➤ Name of the Company:

METI Chemical Co. Ltd.

社名

➤ Address of the head office:

本社住所:

〒、Japan は不要です

➤ Establishment:

設立年月

➤ Capital amount (yen):

資本金 : as of として、年月をいれてください

(Capital amount (yen): 〇〇 yen as of DD MM, 20YY)

事業所概要

最新時点での情報をご記載願います。
国際申告書類の記載内容から変更が生じている場合は、そのご説明を簡単に追記願います。

2. Outline of the Plant Site

事業所名

➤ Name of the Plant Site:

METI Chemical Co., Ltd., YY PLANT

➤ Address:

事業所住所

➤ Location:

Situated in a residential area along the AA River, X km south of the JR line,
XX km west of ZZ City centre, XXX km east of the YY Airport

➤ Total area: XX ha.

事業所面積

➤ Establishment: MMM, 19XX

事業所操業開始年月。例 : April, 1973

➤ Employees: (as of DD MMM, 20YY)

事業所従業員数 (DD MMM 20YY 時点)

➤ Working time: 9:00 ~ 17:00 (Production Section :24hrs 7 days/week 3shifts)

勤務時間。一般事務勤務時間、及び製造部門の勤務

ISO 認証等を記載してください

➤ Accredited certifications : ISO9001:2015, ISO14001:2015

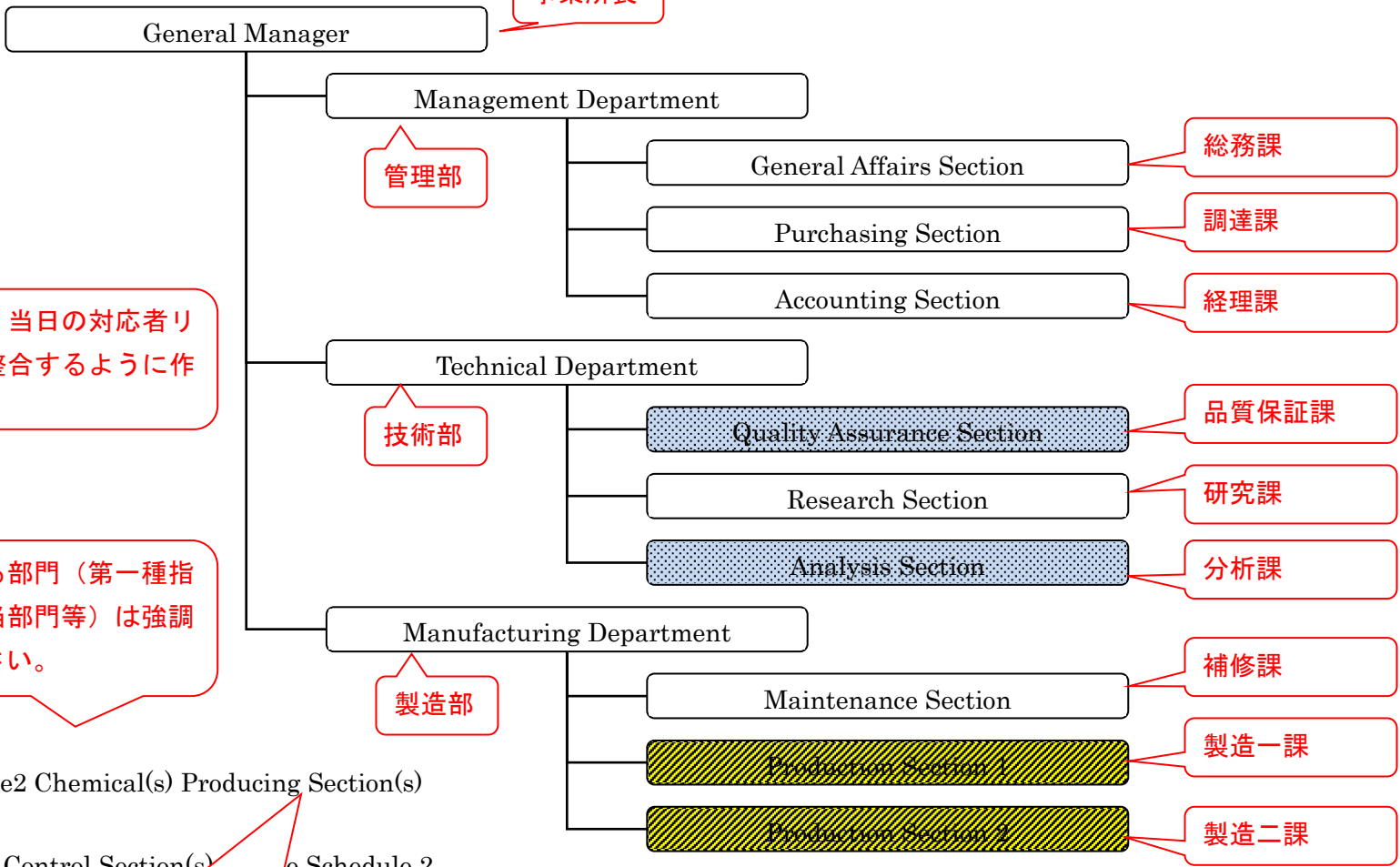
➤ Features and Main Products:

事業所の特徴と、第一種指定物質を含む主要製品を簡単にご記載ください。貴社ホームページ等に英文情報があれば、参照してください。

4. Organisation of the Plant Site



「検査対象」事業所の組織図（会社全体の組織図ではありません）

事業所長



名刺の英語表記、当日の対応者リストの記載とも整合するように作成してください。

届出情報に関わる部門（第一種指定物質の生産担当部門等）は強調表示にしてください。

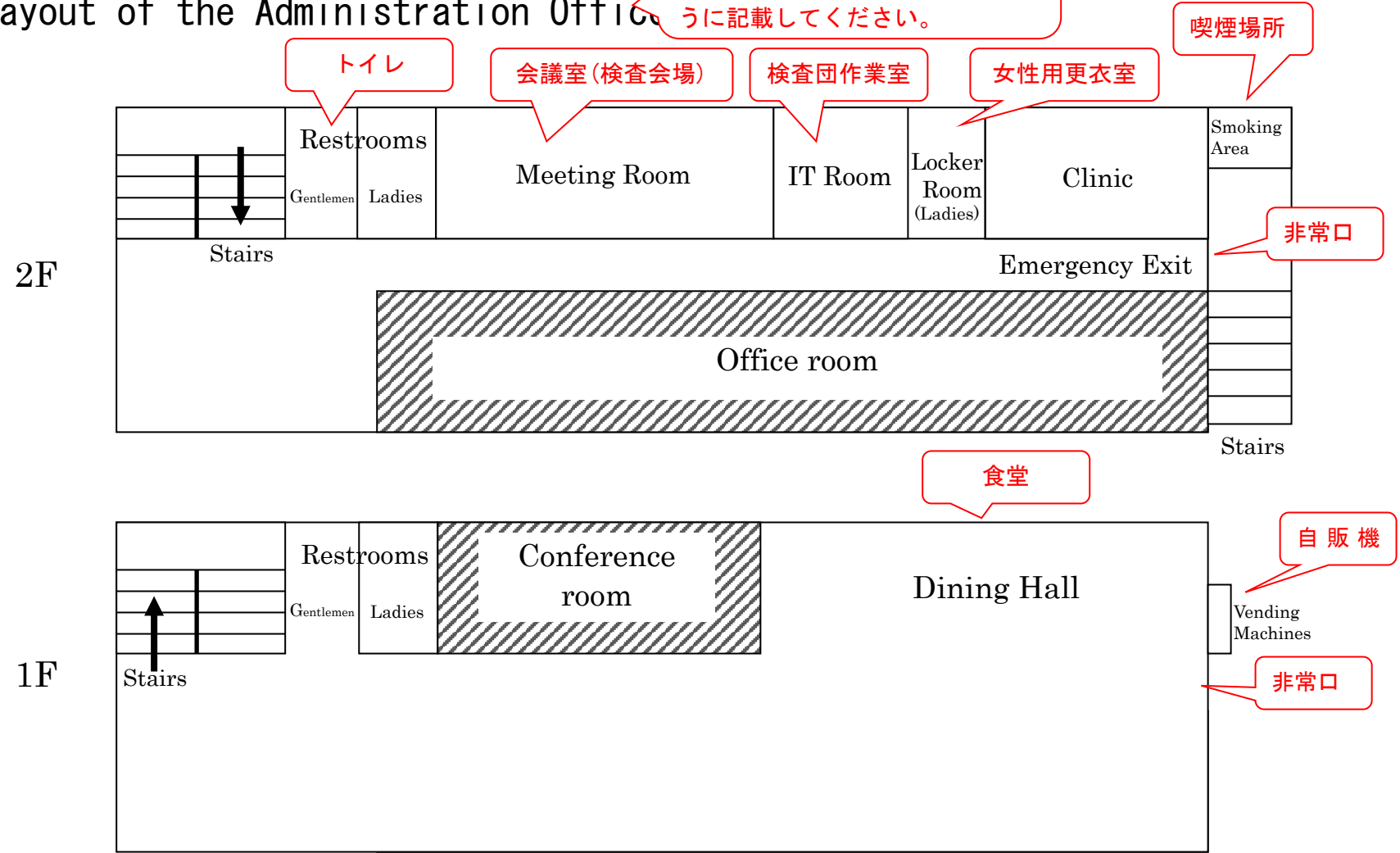
-  : Schedule 2 Chemical(s) Producing Section(s)
-  : Quality Control Section(s) of Schedule 2 Chemical(s)


第一種指定物質の生産部門
加工・消費の場合は、Processing または Consumption と修正してください。

第一種指定物質の品質管理部門

5. Layout of the Administration Office

事務所内の配置図
Meeting Room、IT Roomが入るよ
うに記載してください。



Shaded parts () show off-limits area.

検査団に立ち入らせたくない場所は斜線にしてください

A 4判にした際に地図が見つらなくなる場合は、別途、拡大して添付することが可能です。

機密情報。機密情報ではない場合、削除して頂いても結構です。

事業所配置図とサイトツアー経路図

CONFIDENTIAL

6. General Layout of the Plant Site and Route map for the site tour

届出された国際申告書面に記入された設備は、8. のプラント名称、及び Appendix B と整合するよう、明確に表示してください。概略図ではなく、事業所レイアウトと正確に合致するものを用意してください。Appendix C に記載する Facility を全て含み、その名称を一致させてください。

ルート案は、申告プラント前は必ず通るようにし、事業所全体、主要施設が分かるように計画してください。

電力等ユーティリティ施設

焼却施設

海や川などと接している場合、その名称を記載してください。また、バスなどがある場合は明記してください。

西門。(通常閉鎖している門も含めてすべての門を記載してください)

他社施設が事業所敷地内にある場合は、「Other Company」など、その旨明記してください。

排水処理施設、焼却施設を明示してください。

メンテナンス・ヤード

研究センター/品管ラボ。研究部署、品質管理ラボがある場合は明示してください。

非常時における避難場所

事務棟。医務室がある場合は明示してください。

方位を記載ください。

事業所敷地の幅を記載してください。


倉庫 (製品/原料)

事業所の境界線がわかるように記載してください。


駐車場

事業所敷地の幅を記載してください。

他社など、検査対象事業所以外の領域

Dot line part () shows declared plants

Horizontal line part () shows evacuation area.

Diagonal line part () shows an area which does not belong to this plant site. (e.g. other company)

申告プラント

避難場所

Utility Facilities

West Gate

Incineration Facility

Waste Water

GS2 Plant

PY Plant

Inorganic

AA Plant

AB Plant

Warehouse (Product/Raw Material)

Marking Space

Administration Building
Administration Office (1F) / Clinic (2F)

Maintenance Yard

Evacuation Area

Guard

正門

Approx. 60 m

7. Health and Safety Regulations

健康と安全規則

1. Entering the plant site of METI Chemical Co., Ltd.
- (a) **事業所から検査団に対して示す健康と安全上の禁止事項や留意事項です。**
- (b) Dangerous equipment or substances shall not be brought on to the plant site.
- (c) Dangerous equipment or substances shall not be brought on to the plant site.
- (d) The Inspection Team shall be escorted by representative(s) of the Inspected State Party, when it enters or leaves the plant site.

健康と安全規則の内容(邦文)～参考

1. 事業所への立ち入り

- (a) アルコール飲料の事業所への持ち込みは禁止。
- (b) 酒に酔って事業所に立ち入ってはならない。
- (c) 危険物を事業所に持ち込んではいならない。
- (d) 検査団が事業所に入場又は退出する際には、被検査国の代表者の付添があること。

2. 事務所

- (a) 事前説明の際、被検査国は検査団が使用できる部屋・場所を示す。事務所の他の部分への立ち入りは、被検査国の承認が必要。
- (b) 喫煙は指定場所でのみ許可。
- (c) 許可なく火気及び電気の使用は禁止。

3. プラント

- (a) 火気及び危険有害性物質のプラントへの持ち込み禁止。
- (b) 許可なく火気及び電気の使用は禁止。
- (c) 検査団によるプラントへの立ち入りは、被検査国の代表者の立会のもとに許可され、検査団は事業所の従業員の指示に従うこと。
- (d) プラントのいかなる場所においても、検査団は事業所の機器、装置、原料物質、製品に触れ、又は操作してはならない。
- (e) プラント内での電気(静電気)及びスパークを発生する機器の使用は防爆タイプのみに限られる。防爆タイプでない機器の使用は被検査国の代表者の承認が必要。プラント内での携帯電話の使用は禁止。
- (f) 原則として、以下の地域及び場所への入場は禁止。
- 1) 「危険」又は「立入禁止」の表示がある場所
 - 2) 重機が稼働している場所
 - 3) ガス又は電気での溶接作業が行われている場所
 - 4) 装置の取り外し作業が行われている場所
 - 5) 装置が稼働中の場所
 - 6) 建設作業中の場所
 - 7) 容器又はピットの内部
- 検査団が上述の場所を検査する必要があると考える場合には、被検査国と検査団との協議により検査活動の条件を決定する。

4. 医療援助

被検査国が医療援助を提供しやすくするため、検査団長は、傷病を負った検査団員について、必要な医療の種類・程度を被検査国に知らせ、要請しなくてはならない。被検査国は可能な限り要請された医療を提供・準備する。

5. 避難手順

検査団は、事業所の従業員の指示を遵守しなくてはならない。避難指定場所は事前説明の際に示す。

空欄のままです。(入国手続き時に検査団に説明し、サインをもらう予定です。)

Date: _____

Signature: _____

機密情報。機密情報でない場合、削除して頂いても結構です。

CONFIDENTIAL

8. Description of the Schedule 2 Chemical

Production (XXX)

IUPAC Chemical Name: (CASRN:)
Common/Trade Name: XXXX に物質名を記載してください。

第一種指定物質の活動概要

第一種指定物質を加工／消費している場合は Processing/Consumption と修正してください。

1. Reaction Formula

化学反応

2. Process Description

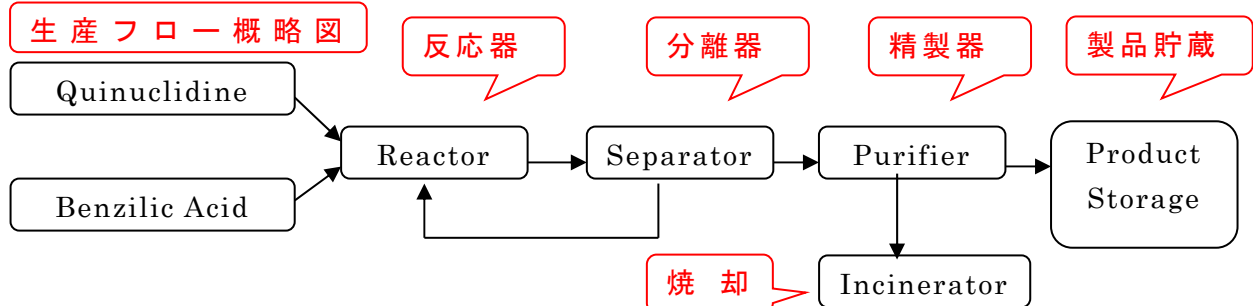
工程説明

どの場所で、どのような方法で第一種指定物質が生産等されているか、副生物の処理等も含め、数行程度で簡潔に記載してください。

生産フロー概略図

3. Block flowchart of the Production

原料から製品が保管されるまで（副生物の処理等も含め）、生産等の大まかなブロックフローを記載してください。



4. Purpose of the Schedule 2 chemical production

どのような目的で生産等をしているか、簡単に記載してください（例えば、製品Aを生産するための1つの原料として利用等）。

例：第一種指定物質生産の目的
加工／消費の場合は、Processing / Consumption と修正してください。

5. Declared Plant(s) Description

申告プラント（第一種指定物質生産等プラント）について、プラント名称、生産される製品や稼働時間、連続生産かバッチ生産か等、簡単に記載してください。

申告プラント（第一種指定物質生産等プラント）の説明

6. Production Capacity

計算方法（Name Base/Designed）、及び計算式を示してください。

Appendix A: List of the site representatives

Name	Title
Mr. KEIZAI Taro	General Manager
Ms. KEIZAI Hanako	Management Department Manager
<p>姓（すべて大文字）、名（最初の一文字を大文字、あとはすべて小文字）の順で記載してください。</p>	<p>それぞれご所属、ご役職を記載ください。 所属は4. 組織図名称と合わせてください。</p>
<p>メンバーは、主要な方だけで結構です。</p>	

Appendix B: Plant description

Plant 概要
 表を参考に申告対象の Plant の詳細について記載してください。
 第一種指定物質の活動以外も含まれます。

NTIAL

No.	Plant name	Type of chemical activity	Reaction type/process description	Technical features including equipment	Plant structure	Directly associated infrastructure
(和訳)	プラ		反応タイプ (Addition、Condensation等) 反応の説明 (バッチ式/連続式) (反応のステップ:原料投入→反応→抽出→乾燥 等)	設備を含む技術的特徴 (反応器の特徴)	Plantの構造 (建屋や排気方式等)	直接関連するインフラストラクチャー (制御室、スクラパー、蒸留塔、タンク等)
記入例	1	P1	Production of TDG (Bis(2-hydroxyethyl)sulfide)	GL (Agitated reactors)	corrugated enclosed building,natural ventilation	Control room with DCS Tank (Raw materials: SS) Warehouse(Products) In Process Lab. (GC, HPLC, Glassware) Gas detector(EO) Fire Alarm
(和訳)	1	チ ー フ の 工 業	ドラム充填		のセメン 、自然	DCS制御の制御室 タンク(原料:ステンレス) 倉庫(製品) 工程ラボ (GC、HPLC、ガラス器具) ガス検知器(酸化エチレン) 火災報知器

代表的な反応名を記載してください。

Plantの制御方式、Plantに付属する倉庫や充填場、検知機や施設を記載してください。

Plantの目的ですので、第一種指定物質の活動以外も記載してください。

Stainless steelの場合、略号としてSSを記載してください。反応器の他、遠心分離器や中間タンク等の材質を記載してください。

申告している Plant 名を記載してください。

各項目の記載例です。

〇〇の生産	精留: Distillation	ステンレススチール: SS	コンクリート: Concrete	シーケンス制御: PLC (program logical control)
〇〇の加工	蒸留: Evaporation	繊維強化プラスチック: FRP	ALC: Lightweight concrete	マニュアル制御: Manual control
〇〇の消費	結晶化: Crystallization		強制換気: Forced ventilation	精留塔: Distillation tower
	遠心分離: Centrifugation			スクラパー: Scrubber (Water, Acid, Alkali)
	濾過: Filtration			焼却炉: Incinerator
	乾燥: Drying			屋外貯蔵所: Open storage area
	分離: Separation			消防危険物倉庫:
	抽出: Extraction			Flammable chemicals warehouse
	添加: Addition			

Appendix C: Facility description

施設
 当該表 2 剤検査対象 Plant 以外の施設詳細について記載してください。
 表を参考に、保管場所（一般倉庫・ストレージエリア）、廃棄物施設（排水や排ガス処理施設）メンテナンスエリア、ユーティリティ、実験室、医務室も記載してください。

	No.	Facility name	The purpose of the facility					
(和訳)		施設名	施設の目的	施設の説明	設備を含む技術的特徴 (測定器の特徴等)	施設の構造 (建屋や排気方式等)	直接関連するインフラストラクチャー (制御室、スクラバー、タンク、検知器等)	
倉庫等 Storage	記入例	1	Storage and warehouse	Storage of products, intermediates and raw materials	<ul style="list-style-type: none"> Products warehouse Liquid products, powder products Raw materials warehouse Liquid raw materials, powder raw materials Materials warehouse Empty drum, empty FIBC Tank farm: liquid raw materials, intermediates, LNG 	<ul style="list-style-type: none"> Products: Refrigeration storage, room temperature storage Raw materials: Room temperature storage 	<ul style="list-style-type: none"> Warehouse: Single level cement corrugated enclosed building with natural ventilation 	<ul style="list-style-type: none"> Warehouse: Fire alarm Tank farm: Flammable gas detector
	(和訳)	1	保管、倉庫	製品、中間体、原材料の保管	<ul style="list-style-type: none"> 製品倉庫: 液体製品、粉体製品 原料倉庫: 液体原料、粉体原料 資材倉庫: 空ドラム、空フレコンパック タンクファーム: 液体原料、中LNG 	<ul style="list-style-type: none"> 製品: 冷蔵保管、常温保管 	<ul style="list-style-type: none"> 倉庫 	<ul style="list-style-type: none"> 倉庫: 火災警報器 タンクファーム: 可燃性検出器
廃棄物 Waste	記入例	2	Waste water treatment	Waste water treatment	<ul style="list-style-type: none"> Activated sludge treatment All industrial wastewater gather to the primary pit → sedimentation → activated sludge treatment → measurement → discharge to the river 	<ul style="list-style-type: none"> Automatic measurement (pH, COD, SS, total N, total P) Titration measurement 	<ul style="list-style-type: none"> 2 levels cement corrugated enclosed building with natural ventilation Control room is on 1F, Measurement room is on 2F 	<ul style="list-style-type: none"> Control room, measurement room Primary pits made of concrete Solid waste is processed by outside contractors
	(和訳)	2	排水処理	排水処理	<ul style="list-style-type: none"> 活性汚泥処理 一次ピットへの全工場排水収集→沈殿→活性汚泥処理→中和処理→測定→河川への放流 	<ul style="list-style-type: none"> 自動測定 (pH, COD, SS 全窒素、全リン) 滴定測定 	<ul style="list-style-type: none"> 2階建ての波形のセメントで囲まれた自然換気ビル 1Fは制御室、2Fは測定室 	<ul style="list-style-type: none"> 制御室、測定室 一次ピットはコンクリート製 固形廃棄物は外部業者で処理
	記入例	4	Off-gas Incinerator	Off-gas Treatment	<ul style="list-style-type: none"> Off-gas Incineration → Cooling → Dust removal → Release to air 	<ul style="list-style-type: none"> Automatic measurement (O₂, CO, NO_x, Dust) Fuel: Heavy oil 	<ul style="list-style-type: none"> 3 level concrete building with natural ventilation Workplace is on 1F, Control room and the measurement room are on 2F 	<ul style="list-style-type: none"> Control room, measurement room, water scrubber, tank.
	(和訳)				<ul style="list-style-type: none"> 工場排ガス燃焼→冷却→除塵→大気放出 	<ul style="list-style-type: none"> 自動測定 (O₂, CO, NO_x, ばい塵) 燃料: 重油 	<ul style="list-style-type: none"> 3階建ての波形のセメントで囲まれた自然換気ビル 1階は作業場、2階は測定室 	<ul style="list-style-type: none"> 制御室、測定室、スクラバー
表2剤以外のプラント non-Sched.2 Plant	記入例	5	DOC Plant B1	Production of Agrochemical intermediate	<ul style="list-style-type: none"> DOC Batch Process Raw material charge into the reactor → Reaction → Centrifugation Drying → Product packaging 	<ul style="list-style-type: none"> GL (Agitated reactors) SS (Agitated reactors) 	<ul style="list-style-type: none"> 2 levels cement corrugated enclosed building with natural ventilation 	<ul style="list-style-type: none"> Gas detector (NH₃)
	(和訳)	5	DOCプラント B1	農業中間体の製造	<ul style="list-style-type: none"> DOC バッチプロセス 反応器に原料投入→反応→遠心分離→乾燥→製品梱包 	<ul style="list-style-type: none"> ガラスライニング (攪拌機付き) ステンレススチール (攪拌機付き) 	<ul style="list-style-type: none"> 2階建ての波形のセメントで囲まれた自然換気ビル 	<ul style="list-style-type: none"> DCS制御の制御室、アルカリスクリャー 検知器 (NH₃)
	記入例	6	Non DOC Plant B2	Mixing of liquid products	<ul style="list-style-type: none"> non-DOC Batch Process Raw material charge into the reactor (vessel) → Mixing → Filling 	<ul style="list-style-type: none"> SS (Agitated reactors) 	<ul style="list-style-type: none"> 2 levels cement corrugated enclosed building with natural ventilation 	<ul style="list-style-type: none"> Control room with DCS, Alkali scrubber
	(和訳)	6	DOC以外のプラント B2	液体製品の混合	<ul style="list-style-type: none"> non-DOC バッチプロセス 容器(反応器)に原料投入→混合→充填 	<ul style="list-style-type: none"> ステンレススチール (攪拌機付き反応器) 	<ul style="list-style-type: none"> 2階建ての波形のセメントで囲まれた自然換気ビル 	<ul style="list-style-type: none"> DCS制御の制御室、アルカリスクリャー
メンテナンス Maintenance	記入例	7	Maintenance yard	Mechanical repair	Contractors workplace	<ul style="list-style-type: none"> Drills, Welding machines and other tools 	<ul style="list-style-type: none"> Single level cement corrugated enclosed building with natural ventilation 	<ul style="list-style-type: none"> Fire alarm
	(和訳)		メンテナンスヤード	機械修理	請負業者の作業場	<ul style="list-style-type: none"> ドリル、溶接機、その他ツール 	<ul style="list-style-type: none"> 1階建ての波形のセメントで囲まれた自然換気ビル 	<ul style="list-style-type: none"> 火災警報器
ユーティリティ Utility	記入例				<ul style="list-style-type: none"> Substation room Boiler Industrial water Cooling tower 変電室 ボイラー 工業用水 冷却塔 	<ul style="list-style-type: none"> Boiler fuel: LNG 	<ul style="list-style-type: none"> Boiler: Single level cement corrugated enclosed building with natural ventilation 	<ul style="list-style-type: none"> Blower, exhaust fan
	(和訳)				<ul style="list-style-type: none"> 有機化学物質の対象 Plant や有機化学物質対象外 Plant (混合、精製、ポリマー合成等) を記載してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ボイラー燃料: 液化天然ガス 	<ul style="list-style-type: none"> ボイラー: 1階建ての波形のセメントで囲まれたビル、強制換気 	<ul style="list-style-type: none"> 送風機、排風機
実験室 Laboratory	記入例	9	Laboratories	Process development, Process improvement	<ul style="list-style-type: none"> QC Laboratory is on 1F of Research building R&D Laboratory is on 2F of Research building 	<ul style="list-style-type: none"> Analytical equipment GC, GCMS, HPLC, TG, DSC, FTIR, Karl Fischer, Glasswares 	<ul style="list-style-type: none"> Single level cement corrugated enclosed building with natural ventilation 	<ul style="list-style-type: none"> Exhaust of the draft chamber is treated by alkali scrubber Fire alarm
	(和訳)	9	実験室	R&D: 新製品開発、工程開発、工程改善 QC: 原料検査、工程検査、製品検査	<ul style="list-style-type: none"> 研究棟の1FはQC、2FはR&D 	<ul style="list-style-type: none"> 分析機器 GC, GCMS, HPLC, TG, DSC FTIR, カールフィッシャー, ガラス器具 	<ul style="list-style-type: none"> 1階建ての波形のセメントで囲まれた自然換気ビル 	<ul style="list-style-type: none"> ドラフトチャンバーの排気はアルカリスクリャー処理 火災警報器
診療所 Medical room	記入例	10	Medical room	The primary treatment of injury or illness	<ul style="list-style-type: none"> Qualified nurses is available in the day time Industry doctor comes to the factory once a month All plants are equipped with first aid box For the medical emergency will be treated at a nearby hospital 	<ul style="list-style-type: none"> Examination room, bed Over-the-counter medicines 	<ul style="list-style-type: none"> Medical room is on 1F of office building with natural ventilation 	<ul style="list-style-type: none"> Fire alarm
	(和訳)	10	診療所	けがや病気の一次処置 従業員の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> 昼間は資格をもつ看護師が在席 産業医が月一回来工 全ての工場に救急箱設置 緊急時は近くの病院で処置 	<ul style="list-style-type: none"> 診察室、ベッド 市販薬 	<ul style="list-style-type: none"> 自然換気の事務棟1F 	<ul style="list-style-type: none"> 火災警報器

検知機についても記載してください。

排水処理、排ガス処理はフローを記載してください。

排水処理、排ガス処理は測定項目を記載してください。

Appendix D: Material balance

マテリアルバランス

表は参考例ですが、第一種指定物質の検査対象期間（3年前～検査直近まで）の収支バランスを記載してください。検査では、年初年末在庫、年間生産量、消費量、出荷量を確認した後、サンプリングでバッチ記録等、各月実績の詳細エビデンスデータを確認します。（別途、前回の国際検査以降のデータをご準備ください）

国際検査当日には、書類、及び現物の両面から在庫量の確認を行います。

有効数字3桁で記載してください。

Schedule2 Chemical name (Year	Item	Unit	Jan.	Feb.	
n-3 (3年前)			Opening stock (月初在庫)	t			
			Purchase (domestic) (国内購入)	t			
			Import (輸入)	t			
	Production (生産)	Batch size (バッチサイズ)	t/ batch				
		Concentration (濃度)	%				
		Number of Batch(バッチ数)	n				
		Adjustment amount(補正值)	t				
				Production amount (生産量)	t		
	Processing (加工)	Batch size (バッチサイズ)	t/ batch				
		Concentration (濃度)	%				
		Number of Batch(バッチ数)	n				
		Adjustment amount(補正值)	t				
				Processing amount (加工量)	t		
	Consumption (消費)	Batch size (バッチサイズ)	t/ batch				
		Concentration (濃度)	%				
		Number of Batch(バッチ数)	n				
		Adjustment amount(補正值)	t				
				Consumption amount (消費量)	t		
				Transfers (domestic) (国内移送/販売)	t		
			Export (輸出)	t			
			Closing stock (月末在庫)	t			
n-2			Opening stock	t			
			Purchase (domestic)	t			
			Import	t			
	Production	Batch size	t/ batch				
		Concentration	%				
		Number of BATCH	n				
		Adjustment amount	t				
				Production amount	t		
	Consumption	Batch size	t/ batch				
		Concentration	%				
		Number of BATCH	n				
		Adjustment amount	t				
				Consumption amount	t		
	Processing	Batch size	t/ batch				
		Concentration	%				
		Number of BATCH	n				
		Adjustment amount	t				
				Processing amount	t		
				Transfers (domestic)	t		
			Export	t			
			Closing stock	t			
n-1			Opening stock	t			
			Purchase (domestic)	t			
			Import	t			
	Production	Batch size	t/ batch				
		Concentration	%				
		Number of BATCH	n				
		Adjustment amount	t				
				Production amount	t		
	Consumption	Batch size	t/ batch				
		Concentration	%				
		Number of BATCH	n				
		Adjustment amount	t				
				Consumption amount	t		
	Processing	Batch size	t/ batch				
		Concentration	%				
		Number of BATCH	n				
		Adjustment amount	t				
				Processing amount	t		
				Transfers (domestic)	t		
			Export	t			
			Closing stock	t			
n			Opening stock	t			
			Purchase (domestic)	t			
			Import	t			
	Production	Batch size	t/ batch				
		Concentration	%				
		Number of BATCH	n				
		Adjustment amount	t				
				Production amount	t		
	Consumption	Batch size	t/ batch				
		Concentration	%				
		Number of BATCH	n				
		Adjustment amount	t				
				Consumption amount	t		
	Processing	Batch size	t/ batch				
		Concentration	%				
		Number of BATCH	n				
		Adjustment amount	t				
				Processing amount	t		
				Transfers (domestic)	t		
			Export	t			
			Closing stock	t			

Appendix E : All handling chemical list

取扱い化学物質

製品、原料、試薬等、貴事業所では取り扱っている化学物質を全て上げてください。

CAS番号が記載されているデータベース等があれば、検査ではそれを確認致します。

	Category	Products/Raw material/Reagent Common name	Chemical name	CASRN.	Sched. 2	Sched. 3
(和訳)	区分	製品/原料/試薬の通称	物質名	CAS番号	表2剤 (第一種指定物質)	表3剤 (第二種指定物質)
記入例	Raw material	ABC123	〇〇〇	〇〇	-	-
(和訳)	原料	ABC123	〇〇〇	〇〇	-	-
記入例	Raw material	TEA-80	triethanolamine (2, 2', 2''-Nitrilotriethanol)	102-71-6		○
(和訳)	原料	TEA-80	トリエタノールアミン (2, 2', 2''-ニトロトリエタノール)	102-71-6		○
記入例	Raw material	Phosphorus oxychloride	Phosphoryl chloride	10025-87-3		○
(和訳)	原料	オキシ塩化リン	ホスホリルクロライド	10025-87-3		○
記入例	Product Reagent (Lab.)	TDG	Bis(2-hydroxyethyl) sulfide	111-48-8	○	
(和訳)	製品 試薬(実験室)	TDG	ビス(2-ヒドロキシエチル)スルフィド (チオジグリコール)	111-48-8	○	

製品、原料、試薬の別が分かるように記載してください。

できるだけ英語名を記載してください。

CAS番号の記載は必須です。

第一種指定物質、第二種指定物質はチェックを入れてください。

検査では取扱っている目的も確認します。

Appendix F は別添のエクセル版にご記入ください。

Appendix F : 前回国際検査時からの変更点

前回の査察時の最終報告書 (FIR)、及び過去3年分の申告書を改めて点検頂き、その記載事項からの変更の有無を確認ください。

※変更点が無い場合には、「無し」とご記入ください。

項目	変更点
PIB 資料 「1. Location of the Plant Site and Airport」	[記入例] ・事業所名変更 (2020年8月) ・緯度・経度の変更 (2019年4月)
PIB 資料 「3. Outline of the Company and the Plant Site」	・事業所名変更 (2020年8月) ・事業所住所変更 (2019年4月)
PIB 資料 「4. Organisation of the Plant Site」	・表2 剤生産(加工、消費)部署変更 (2020年8月) ・表2 剤関連 QC 部署の変更 (2019年4月) ・R&D 部署の新設 (2019年10月)
PIB 資料 「6. General Layout of the Plant Site and Route map for the site tour」	・GS2 Plant (DOC Plant) の新設 (2020年8月) ・原料倉庫の位置変更 (2019年4月) ・PX Plant の停止・撤去 (2019年10月)
PIB 資料 「8. Description of the Schedule 2 Chemical Production (XXXX)」	・当該表2 剤の加工追加 (2020年8月) ・生産プロセスの変更 (2019年4月) ・生産能力の増加 (2019年10月) ・プラント名の変更 (2019年4月)
Appendix B 「Plant description」	・当該表2 剤の加工追加 (2020年8月) ・生産プロセスの変更 (2019年4月) ・プラント名の変更 (2019年4月) ・DOC の生産開始 (2020年4月) ・混合用タンの新設、混合工程(加工)の追加 (2020年4月)
Appendix C 「Facility description」	・GS2 Plant (DOC Plant) の新設 (2020年8月) ・PX Plant の停止・撤去 (2019年10月) ・R&D 実験室の新設 (2019年10月)

別添 3

事業所と通訳会社間における
秘密保持誓約書ひな形

令和 年 月 日

秘密保持誓約書

事業所名：

所在地：

通訳者： 印

所属機関：株式会社エアクレレン

氏名： 社印

国際検査期間中、貴社（ ）における通訳業務に従事する際に、私（氏名：通訳者）が知ることとなる貴社の情報については、業務遂行中はもちろん、業務終了後においても、当該の業務目的以外には、知り得た情報を開示しないことを誓約致します。

ただし、貴社は、私（氏名：通訳者）が既に入手している情報や開示権を有する他の情報源から合法的に得た情報に関しては、私の秘密保持義務は生じないものであることを了解していることと致します。

本誓約書は2通作成することとし、1通は「事業所」が、もう1通は「株式会社エアクレレン」が所持することと致します。

上記誓約書に同意し、本誓約書を受領致します。

所在地：

会社名：

代表者：

職位：

印

チェックリスト

*このチェックリストは、経済産業省の職員が実態調査にお伺いした際に確認させていただく項目（の一部）です。PIB（Pre-inspection Briefing：検査前概要説明）の更新と共に、これらの質問にお答えください。実態調査までにこれらの質問に答えられるようにしていただくと、調査がスムーズになります。

*将来、実際に国際検査の実施が決まった場合も、改めてこのリストを活用してください。

<全体>

- ・ 事業所（や最寄りのコンビニ等に）にファックス、コピー機はありますか？
- ・ 検査団・立会団合計10名程度の昼食の手配（仕出し弁当、社員食堂等）は可能ですか？
- ・ 届出書類記載の事業所の緯度・経度情報は、事業所のどこで測定した結果ですか？
- ・ 事業所内で、（検査団・立会団が持参する）安全靴、ヘルメット以外の安全装備が必要な場所はありますか？また、それらの装備は検査団に貸与していただくことは可能ですか？
- ・ 秘密保持の観点から、検査団に見せられない（見せたくない）施設・設備はありますか？（見せられない施設・設備がある場合）その理由は何ですか？
- ・ 事業所の敷地内に、（検査対象外である）別会社・子会社の施設や設備はありますか？
- ・ （構内に検査対象外の別会社・子会社の施設や設備がある場合）そのことが確認できる書類（登記簿謄本、賃貸契約書、公的文書等）はありますか？
- ・ 事業所が申告事業所と同一であると証明するISO認証書、公的文書（許認可等の書類）はありますか？
- ・ 届出（申告）する化学物質について、製造記録から届出量まで、集計方法を順序立てて説明する各資料の準備はできていますか？
- ・ （過去に国際検査を受けたことがある事業所の場合）当時の状況は、当時の担当者か

ら聴取するなど、しっかり把握できていますか？

- ・ 実際に国際検査が行われる場合、どなた（方）が対応するか決まりましたか？
- ・ サイトツアーはどのような経路で実施するのが効率的か決まりましたか？
- ・ 国際検査の際に必要な各部屋（ITルーム（閉鎖可能な鍵付きの部屋）、ミーティングルーム等）は、確保できる目処が立ちましたか？（分析付検査に関する、検査団分析室（鍵付き）、対抗分析室は後述）
- ・ 国際検査の際に必要な各記録・資料は、準備できましたか？（準備できる目処が立ちましたか？）
- ・ 各施設や設備、原料や製品等について、スペック、存在理由等、国際検査において質問されるであろう内容に的確に答えられますか？
- ・ 国際検査の際には、別紙3の通訳秘密保持誓約書のひな形を利用しますか？（利用する場合）別添3のひな形に加筆する内容はありますか？
- ・ 検査団に守って貰う健康と安全の規則（7. Health and Safety Regulations）について、PIBひな形に加筆する内容はありますか？
- ・ 検査時、事業所にバス（小型、中型）、又はタクシーで入構する予定です。事業所内にバス、タクシーの駐車可能な場所はありますか？ また、時間帯に制限はありますか？
- ・ 事業所内で、立会団が持ち込む予定の別紙の通信機器（非防爆仕様）は使用してよい

ですか？

- ・ 実態調査や国際検査について、何か質問はありますか？

<別紙>

実際の国際検査において、立会団が持ち込む予定の無線機のスペック

携帯型送信機

メーカー	TOA株式会社
型番	WM-1100
電源	DC 1.2V (ニカド電池)、DC 1.5V (乾電池)
無線局の種類	特定小電力無線局ラジオマイク用無線設備
電波型式	F3E
送信周波数	322.025~322.150MHz、322.250~322.400MHz 25kHz間隔 13チャンネル
送信出力	1mW
発信方式	水晶制御PLLシンセサイザ方式
トーン周波数	14.80kHz、14.75kHz (2チャンネルのうち1チャンネル)
総合周波数特性	200~5,000Hz (携帯型送信機→携帯型受信機) 150~6,000Hz (携帯型送信機→卓上型受信機、据置型受信機、ワイヤレススピーカ)
プリエンファシ	50μs
入力レベル	-50dB* (感度-Hi) / -44dB* (感度-Lo)
使用電池	専用充電電池WB-1100×1 又は 単3形アルカリ乾電池×1
電池持続時間	約10時間 (専用充電電池使用時) 約20時間 (単3形アルカリ乾電池使用時)
使用温度範囲	-10°C~+40°C
寸法	63(W) × 163.6(H) × 32.5(D)mm
質量	118g (電池含む)
図面	<p>■ 外観図</p> <p>■ 外観図</p> <p>自動ストップ感しス マイクホン入力端子(4.5.5)</p> <p>送信/バッテリーチェックランプ (送信・点灯 送信・点灯 BATT故障:緑-赤)</p> <p>上面図</p> <p>アンテナ 電源スイッチ チャンネルスイッチ</p> <p>ロックツマミ マイク感度切替スイッチ 10dB増強 10dB減弱 トーン切替スイッチ グループスイッチ</p> <p>電池カバーを開いた状態</p> <p>正面図</p> <p>側面図</p> <p>背面図</p> <p>単位:mm 縮尺:1/2</p>

携帯型受信機

メーカー	TOA株式会社
型番	WT-1100
電源	DC 1.2V (ニカド電池)、DC 1.5V (乾電池)
無線局の種類	特定小電力無線局ラジオマイク用無線設備
電波型式	F3E
受信周波数	322.025~322.150MHz、322.250~322.400MHz 25kHz間隔 13チャンネル
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
受信感度	S/N 25dB以上 (7dB μ VEMF入力、偏移 \pm 2.25kHz) 受信(スケルチ)感度切替 Hi:5dB μ VEMF、Lo:15dB μ VEMF
トーン周波数	14.80kHz、14.75kHz (2チャンネルのうち1チャンネル)
総合周波数特性	200~5,000Hz (携帯型送信機→携帯型受信機) 150~6,000Hz (卓上型受信機→携帯型受信機)
ディエンファシ	50 μ s
出力レベル	4mW (16 Ω 負荷、10%歪率時)
機能	チャンネルスキャン機能
使用電池	専用充電電池WB-1100 \times 1 又は 単3形アルカリ乾電池 \times 1
電池持続時間	約10時間 (専用充電電池使用時) 約20時間 (単3形アルカリ乾電池使用時)
使用温度範囲	-10 $^{\circ}$ C~+40 $^{\circ}$ C
寸法	62(W) \times 163.6(H) \times 32.5(D) mm
質量	120g (電池含む)
図面	<p> ■ 外観図 専用ストラップ通し穴 マイコン用出力端子(φ3.5) 受信ノイズリダクションランプ 上部図 アンテナ 電源スイッチ付ボリューム チャンネルスイッチ ロックワザ 受信感度切替スイッチ (Hi=10dBμVEMF、Lo=15dBμVEMF) トーン切替スイッチ グループスイッチ 電池カバーを開いた状態 正面図 単位: mm 縮尺: 1/2 側面図 背面図 専用ストラップ(付属品) クリップ 62 19 32.5 400 45.4 65.6 98 </p>

<分析付検査>

- * 検査が「分析付」で行われるのは国内で年に1回程度ですが、事業所で分析付き検査が実施される可能性もあります。
- * 分析付検査は、事業所内に、申告していない表剤が存在していないことを確認する目的で実施され、検査団及び立会団が同一試料の分析を別々に行います。
- ・ 検査団用の「検査団分析室」及び立会団用の「対抗分析室」のそれぞれのご準備をお願い致します。
 - 1) 分析付検査が実施された場合、機器分析のため、「検査団分析室」、「対抗分析室」とも、24時間稼働となります。ご了解ください。(特に、「対抗分析室」は準備のため、検査前週の金曜日からの連続運転となります。)
 - 2) 分析機器を設置でき(20㎡)、エアコンによる空調(15~25℃)が可能な部屋が2部屋必要ですが、準備できますか。(検査団分析室は、閉鎖可能な鍵付きの部屋をご準備ください。)
 - 3) それぞれの部屋に、分析機器用電源として、100V・15Aの3系統をご準備頂けますか。
 - 4) この電源確保が不可能な場合、電源の仮設工事を行うことは可能ですか。
仮設工事が可能な場合、想定される施工者、施工期間、費用の見積もりについても教えてください。(工事費用は検査団に請求可能です。)
- ・ 分析室及び対抗分析室に分析機器を搬入搬出する経路は確保できますか？
2階以上の部屋の場合、エレベータの使用はできますか？ また、トラックからの運搬経路に養生の必要性はありますか？
- ・ 検査期間中、事業所が所有されているヒュームフード(ドラフトチャンバー)を提供して頂くことは可能ですか。
- ・ 分析付検査の受入れのために許可申請等をしなければならない法令による規制等はあ

りますか。ある場合、その許可申請等の手続に要する時間、費用はどれくらいになりますか。

例：電源仮設工事は、電気工事士の資格を有する従業員が施工する。

電源仮設工事が生産現場に及ぶ場合、消防法の届出が必要。

- ・ 事業所の規則において、以下の行為が禁止・制限されていたり、実施に条件が課されているものはありますか？
 - 分析機材の事業所への持込み、セットアップ

 - 事業所の従業員による試料の採取
 - ※検査時には、検査団の要請に基づいて事業所の方に試料採取を行っていただくこととなります。

 - 試料の分析
 - 例：ヘキサクロロベンゼンを含有する試薬の使用禁止
 - 例：所定の白衣、ゴーグル、マスク、手袋等の着用

 - 分析に伴う排気・廃液の処理

 - 採取した試料の事業所敷地外への持ち出し
 - ※事業所内に適当な分析スペースを確保することが非常に困難な場合、試料を国内の適当な施設に移送し、そこで検査団が分析するという方法もあり得ます。

- ・ 採取した試料を国内の適当な施設に移送し、そこで検査団が分析するという方法をとることになった場合、どのような施設が考えられますか。
 - 例：関連会社の施設、分析を外注している分析会社の施設

- ・ 検査団が行う分析と同等の分析を事業所自ら実施しますか。

- ・ 検査団の分析機材、分析方法等に関する情報の提供を希望しますか？